

2025

学校要覧

College Bulletin



電気情報工学科

ELECTRICAL AND COMPUTER
ENGINEERING



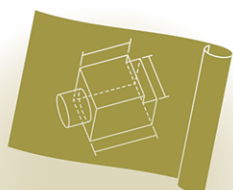
機械工学科

MECHANICAL ENGINEERING



物質工学科

CHEMICAL SCIENCE AND
ENGINEERING



建築学科

ARCHITECTURE



一般科目

GENERAL EDUCATION



専攻科

THE ADVANCED
ENGINEERING COURSES



独立行政法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN) / Miyakonojo College

教育理念

「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」



学習・教育目標

1. あらゆる可能性を追求できる豊かな創造性を有する技術者の育成
2. 科学と工学の知識を駆使して技術的問題を解決し、新規生産技術をデザインできる優れた知性を有する技術者の育成
3. 世界の歴史・文化および倫理を常に考え国際社会に貢献できる高度な社会性を有する技術者の育成
4. 自然・社会環境に関連する諸問題に積極的・計画的に取り組み、継続して推進する確かな実行力を有する技術者の育成

人材の養成に関する目的その他教育上の目的

【学科共通の目的】

専門分野を理解する上で必要な数学、物理学の基礎的知識を有し、それらの知識を専門分野に応用できる総合的能力、広範な知識と豊かな人間性・社会性を持ち、複合分野で活躍できる学際的能力、様々な工学的手法を駆使し、周囲とのコミュニケーションを図りながら技術的な課題や問題を解決に導く創造的能力、英語能力及び論理的な思考による文章作成能力と効果的なプレゼンテーション能力、技術者の社会的責任に基づく倫理的判断能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【機械工学科】

機械工学科では、機械工学の基礎知識・基礎技術を用いて設計から製作までを実践できる総合的能力並びに機械工学に関する様々な物理現象を評価・分析し、ものづくりのプロセスを提案・改善できる学際的能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【電気情報工学科】

電気情報工学科では、電気情報工学分野である電気、電子、制御、通信、情報の広範な基礎学力を身につけた適応力のある実践的能力並びに電気情報工学に関する課題、現象、社会問題を把握する洞察力と創造的能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【物質工学科】

物質工学科では、物質工学とそれに関係する基礎的な理論および技術を実際に理解し応用できる能力、物質工学に関する課題、現象、社会問題を主体的に把握し解決する能力と創造的能力、自らの考えを論理的に展開でき、発表・議論ができる能力並びに化学英語に関する文書作成やプレゼンテーションができる能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【建築学科】

建築学科では、建築学全般において、性能、安全性、環境負荷、経済性などに配慮し、建築物を計画・設計できる能力並びに国内外の建築に関わる歴史や文化について、さまざまな事柄を認識できる学際的能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【機械電気工学専攻】

機械電気工学専攻では、機械工学・電気情報工学の基礎知識と技能を基盤として、両工学分野の連携技術に対応できる能力並びに高度化した設計・開発・研究に対応できる創造的なデザイン能力と問題解決能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

【物質工学専攻】

物質工学専攻では、物質工学の基礎的・実践的知識及び技術の上に、より高度な新素材開発技術、物質生産技術及び環境保全技術を有し、化学工業界の要望に応えることのできる総合的技術に基づいた幅広い視野と創造性を身につけた技術者の養成を目的とする。

【建築学専攻】

建築学専攻では、建築の特定分野において、高度な責任能力を有し、自ら問題を発見し解決できる能力並びに建築文化の発展と豊かな都市空間の創造に寄与できる能力を身につけた技術者の養成を目的とする。

研究に関する目標

1. 教員は研究業績向上のために、より充実した基礎研究と発展的研究に取り組む。
また、創造性豊かな実践的技術者教育に寄与できるような研究課題を見いだし、その研究を推進する。
2. 本校の独自性を打ち出すために、本校の学科構成及び地域性を考慮した学際的な研究課題を見いだし、その研究を推進する。
3. 他の大学、高専及び研究機関等との連携を強化し、国際的な視野に立った戦略的研究課題を探索し、その研究を推進する。

地域貢献活動に関する目的、基本方針及び目標

【地域貢献活動の定義】

本校における地域貢献活動とは、地域に力を尽くして、より良い結果をもたらす活動、並びに地域及び本校の発展に資する活動をいう。

【目的】

本校は、地域における教育研究支援活動、学習ニーズ呼応活動、産学官連携活動及び高専施設開放活動等の拠点となり、地域の発展のため、その役割を果たすことを目的とする。

【基本方針】

1. 本校教職員は、地域の一員として積極的に地域社会との共生を図る。
2. 本校及び本校教職員は、教育研究活動等で培った知識、技術及び施設資源に基づいて、地域の期待に応える。

【目標】

本校は、地域ニーズを的確に把握し、研究成果の還元、人的交流及び施設開放等に基づき、地域教育文化及び研究基盤レベルの向上、地域産業の振興並びに地域サービスの充実を目指し、地域に頼られる存在になることを目標とする。

三つの方針（本科・専攻科）

本校の本科・専攻科では、以下に掲げる三つの方針に従って、教育活動を実践しています。

【本科】

1. 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
2. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
3. 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

【専攻科】

1. 修了認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
2. 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）
3. 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

各方針の内容については、本校 Web サイトの以下のページに掲載しています。

<https://www.miyakonojo-nct.ac.jp/guide/3policy/>

校長挨拶

Message from the President



田村 隆弘

近年、科学技術の急速な進歩が、人々の日常生活の利便性を著しく向上させています。一方で、人々の平和な社会のために進化しているはずの科学技術が、戦争や犯罪に用いられ、多くの人を不幸にしている現実もあります。では、今、私たちは何を学ばなければいけないのでしょうか。平和な社会を築くためには、一人ひとりが自らの知識や技術を活かしつつ、より善く生きることが大切です。

都城高専の学生は、高度で実践的な科学技術を学びます。と同時に、平和な社会作りに貢献できる人材として、社会から信頼される人を目指します。信頼される人になるには、授業で知識や技術を身につけるだけでなく、チームワーク、コミュニケーション能力、豊かな感性、そして、平常心といった素養が必要です。これらは、クラブ活動やコンテストなど実体験の伴うチャレンジによって養うことができます。高専では、毎年、全国高専ロボコンの他、多くのコンテストが行われています。もちろん、体育系や文化系のたくさんのクラブ活動もあります。

都城市は、幕末、日本が世界に遅れていることをいち早く察し、様々な技術革新に取り組んだ島津斉彬公を生んだ島津家発祥の地でもあります。本校は、島津家発祥の地に設置された高専として、地域の期待に応えるべく、信頼される人材の育成に取り組めます。

In recent years, rapid advances in science and technology have significantly improved the convenience of people's daily lives. On the other hand, the reality is that science and technology, which are supposed to be evolving for people's peaceful society, are being used for wars and crimes, making many people unhappy. So, what must we learn now? In order to build a peaceful society, it is important for each of us to live a better life while utilizing our own knowledge and skills.

Students at National Institute of Technology (Kosen), Miyakonojo College learn advanced and practical science and technology. At the same time, we aim to be trusted as people who can contribute to the creation of a peaceful society. However, to become a trustworthy person, it is necessary not only to acquire knowledge and skills in classes, but also to have teamwork, communication skills, sensitivity, and a calm mind. These can be cultivated through actual experiences, such as club activities and contests. Every year, Kosen holds many kinds of contests, including the National Kosen Robocon. There are also various sports and cultural club activities in each school.

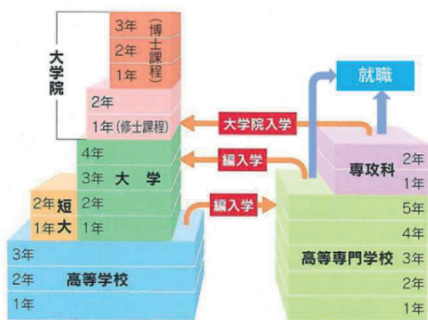
Miyakonojo City is the birthplace of the Shimazu family, which produced Nariakira Shimazu. He realized at the end of the Edo period that Japan had been behind the rest of the world. He went ahead of his time and worked on various technological innovations. As a college of technology established in that historic place, we will do our best to develop reliable human resources to meet the expectations of the region.

学校概要

About Our College

高等専門学校（高専）は、我が国の高度成長を支える実践的技術者の養成を目的として1962年に制度化されました。現在、日本全国に51の国立高専が配置されています。高専では、中学校を卒業後から5年間の充実した実践的な科学技術教育によって、社会の様々な課題を解決できる人財を育成します。また、卒業後、さらに2年間の専攻科に進学することで、より一層高度な研究開発型のエンジニアに成長するとともに、学士の学位を得ることができます。

都城高専は1964年に開校し、2024年には創立60周年を迎えました。本校には、5年制の本科4学科（機械工学科、電気情報工学科、物質工学科、建築学科）と、2年制の専攻科3専攻（機械電気工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻）があります。また、本校の「生産デザイン工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）によって、世界基準の教育プログラムであることを認証されています。



Colleges of technology (Kosen) were established in 1962 with the aim of training practical engineers to support Japan's rapid economic growth. Currently, there are 51 national institutes of technology in Japan. After graduating from junior high school, technical colleges provide students with five years of substantial practical science and technology education to develop them into human resources capable of solving various social issues. In addition, by proceeding to a two-year advanced course, graduates can grow to be even more advanced research and developmental engineers and obtain a bachelor's degree.

The National Institute of Technology, Miyakonojo College was established in 1964 and celebrated its 60th anniversary in 2024. Our school has four five-year associate degree courses (mechanical engineering, electrical and computer engineering, chemical science and engineering, and architecture) and three two-year advanced (bachelor's degree) courses (mechanical and electrical engineering, chemical science and engineering, and architecture). Besides, our school's "Interdisciplinary Engineering Program" has been certified as a world standard educational program by the Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE).



■校章の由来 Origin of College Emblem



高専の文字のバックはミヤマキリシマ（ツツジ科）の五弁の花冠を形どったものである。

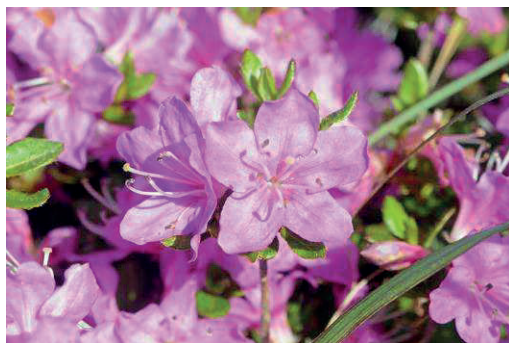
ミヤマキリシマは、霧島山をはじめ阿蘇・久住等、九州の高山に自生する常緑低木であるが、厳冬の風雪に耐えた可憐なこのツツジが、山頂山腹にかけて花開く5～6月頃の山の景観は、筆舌に尽くし難い。

校章の制定に当たっては、初代校長 吉村恂氏の発案により霧島山麓の本校に学ぶ学生が、このゆかりの花のように、たくましく勉学に励み、清く美しい人生の花を開くことを願い、校章としたものである。

■ロゴマーク College Symbol



霧島山とミヤマキリシマをモチーフにした本校ロゴマークは、霧島山の麓で育つ学生の将来性と向上心とを表現しています。自然の鮮やかな色合いには、学生が花開く人生を歩んでほしいという願いが込められています。



写真：ミヤマキリシマ
【撮影：黒木藤夫 元准教授】

■校歌 College Song

都城工業高等専門学校校歌

作詞 清水 徹
作曲 海老原 直



一、
曉雲映ゆる霧島の
峰々遠く仰ぎつゝ
高き理想にあくがる
心も清き若人の
夢はぐくまん学舎ぞ
ああ高専都城

二、
遠き歴史を伝えたる
古き都に新しき
工学の道極めんと
集いしわれら八百の
心と技術の学舎ぞ
ああ高専都城

三、
高き岩根に美しく
また雄々しく咲き匂う
みやま霧島かたどりて
広く豊けき教養の
花は開かん学舎ぞ
ああ高専都城

沿 革 概 要	Outline of History	1
歴代校長・名誉教授	The Past Presidents, Emeritus Professor	1
組 織 概 要	Organization	2
一 般 科 目	General Education	3
機 械 工 学 科	Mechanical Engineering	6
電 気 情 報 工 学 科	Electrical and Computer Engineering	9
物 質 工 学 科	Chemical Science and Engineering	12
建 築 学 科	Architecture	15
非 常 勤 講 師	Part-Time Lecturer	18
専 攻 科	The Advanced Engineering Courses	19
生産デザイン工学プログラム	Interdisciplinary Engineering Program	22
特色ある取り組み	Distinctive Program	23
外 部 と の 連 携	Social Cooperative	26
国 際 交 流	International Exchange Activities	27
寮 生 活	Dormitory Life	28
学 校 行 事	Academic Calendar	29
学 生 会 組 織 図	Student Council Chart	31
課 外 活 動 実 績	The Extracurricular Activities Results	31
学 生 概 況	Situation of Students	32
進路状況（学科）	Classification of Graduates（Departments）	33
（専攻科）	（Advanced Courses）	36
図 書 館	Library	37
情報教育センター	Information Technology Education Center	38
情報システム管理室	Information Systems Division	38
技術教育支援センター	Technical Education Support Center	39
地域連携テクノセンター	Regional Technology Collaboration Center	40
学 生 相 談 支 援 室	Student Counseling Room	41
キ ャ リ ア 支 援 室	Career Support Office	41
収 入 ・ 支 出 決 算	Finance	42
施 設 概 況	Land and Buildings	43
建 物 等 配 置 図	Campus Map	44
福 利 厚 生 施 設	Welfare Facilities	44



沿革概要

Outline of History

昭和 39 年	3 月 27 日	昭和 39 年法律第 9 号により国立学校設置法の一部を改正する法律が公布され機械工学科、電気工学科及び工業化学科（定員各 40 名）を置く都城工業高等専門学校を設置	平成 14 年	4 月 1 日	専攻科設置（機械電気工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻）
	4 月 1 日	都城工業高等専門学校開校（都城市北原町 1106 番地 元県工業試験場及び職業補導所を仮校舎並びに寄宿舎にあてた）		4 月 8 日	第 1 回専攻科入学式挙行
		初代校長に九州大学教授 理学博士 吉村 恂 就任	平成 15 年	4 月 1 日	第 9 代校長に文化庁文化財部建造物課長 工学博士 亀井 伸雄 就任
	4 月 20 日	開校式及び第 1 回入学式を都城市立明道小学校体育館で挙行	平成 16 年	3 月 19 日	第 1 回専攻科修了式挙行
	6 月 5 日	整地工事完了引渡式挙行	平成 16 年	4 月 1 日	独立行政法人国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校 設置
昭和 40 年	3 月 25 日	新校舎（現校舎）に移転		11 月 6 日	創立 40 周年記念式典挙行
昭和 42 年	4 月 1 日	事務部制がしかれ庶務課及び会計課の 2 課を設置	平成 17 年	4 月 1 日	第 10 代校長に国立大学法人筑波技術短期大学理事兼副学長 廣瀬 寛就任
昭和 44 年	3 月 24 日	第 1 回卒業式挙行		5 月 12 日	「生産デザイン工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の 2004 年プログラムとして認定
	4 月 1 日	建築学科（定員 40 名）増設	平成 18 年	3 月 20 日	平成 17 年度大学評価・学位授与機構の機関別認証評価において、高等専門学校評価基準を満たしているとの評価を得た
昭和 46 年	4 月 1 日	第 2 代校長に九州大学名誉教授 工学博士 野口 高 就任	平成 19 年	4 月 1 日	電気工学科を電気情報工学科に名称変更
		事務部に学生課が置かれ 3 課に拡充	平成 20 年	4 月 1 日	事務部を総務課及び学生課の 2 課に再編
昭和 49 年	11 月 9 日	創立 10 周年記念式典挙行			第 11 代校長に東京農工大学理事兼副学長 三村 洋史 就任
昭和 54 年	4 月 1 日	第 3 代校長に九州大学教授 工学博士 海江田 弘也 就任	平成 22 年	2 月 2 日	都城工業高等専門学校・宮崎県連携協議会を設置
昭和 58 年	12 月 1 日	第 4 代校長に国立諫早少年自然の家所長 野口 博通 就任	平成 25 年	3 月 27 日	平成 24 年度大学評価・学位授与機構の機関別認証評価において、高等専門学校評価基準を満たしているとの評価を得た
昭和 59 年	11 月 10 日	創立 20 周年記念式典挙行		4 月 1 日	第 12 代校長に鈴鹿工業高等専門学校教授 工学博士 桑原 裕史 就任
昭和 61 年	12 月 1 日	第 5 代校長に文部省大臣官房文教施設部技術参事官 篠塚 脩 就任	平成 26 年	11 月 15 日	創立 50 周年記念式典挙行
		卒業生に「準学士」の称号を付与	平成 30 年	4 月 1 日	第 13 代校長に阿南工業高等専門学校教授 工学博士 岩佐 健司 就任
平成 4 年	3 月 19 日	学校週五日制実施			令和元年度大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価において、高等専門学校評価基準を満たしているとの評価を得た
平成 5 年	4 月 1 日	第 6 代校長に九州大学教授 理学博士 高見沢 徹一郎 就任	令和 2 年	3 月 24 日	令和元年度大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価において、高等専門学校評価基準を満たしているとの評価を得た
	4 月 7 日	外国人留学生受入れ開始			第 14 代校長に岐阜工業高等専門学校副校長 工学博士 和田 清 就任
	7 月 1 日	第 7 代校長に九州大学名誉教授 農学博士 江藤 守總 就任	令和 5 年	4 月 1 日	第 15 代校長に福井工業高等専門学校校長 博士（工学） 田村 隆弘 就任
平成 6 年	11 月 5 日	創立 30 周年記念式典挙行	令和 6 年	11 月 5 日	創立 60 周年記念式典挙行
平成 7 年	4 月 1 日	工業化学科を物質工学科に改組			
平成 10 年	4 月 1 日	第 8 代校長に九州大学名誉教授 農学博士 松浦 修平 就任			

歴代校長・名誉教授

The Past Presidents, Emeritus Professor

歴代校長 The Past Presidents

	在 職 期 間 Office Term	氏 名 Name		在 職 期 間 Office Term	氏 名 Name
1	昭.39. 4. 1～昭.46. 3.31 From Apr. 1, '64～Mar. 31, '71	吉 村 恂 Dr. YOSHIMURA Jun	9	平.15. 4. 1～平.17. 3.31 From Apr. 1, '03～Mar. 31, '05	亀 井 伸 雄 Dr. KAMEI Nobuo
2	昭.46. 4. 1～昭.54. 3.31 From Apr. 1, '71～Mar. 31, '79	野 口 高 Dr. NOGUCHI Takashi	10	平.17. 4. 1～平.20. 3.31 From Apr. 1, '05～Mar. 31, '08	廣 瀬 寛 Mr. HIROSE Hiroshi
3	昭.54. 4. 1～昭.58. 11.30 From Apr. 1, '79～Nov. 30, '83	海江田 弘也 Dr. KAIEDA Hiroya	11	平.20. 4. 1～平.25. 3.31 From Apr. 1, '08～Mar. 31, '13	三 村 洋 史 Mr. MIMURA Hirofumi
4	昭.58. 12. 1～昭.61. 11.30 From Dec. 1, '83～Nov. 30, '86	野 口 博 通 Mr. NOGUCHI Hiromichi	12	平.25. 4. 1～平.30. 3.31 From Apr. 1, '13～Mar. 31, '18	桑 原 裕 史 Dr. KUWABARA Hirofumi
5	昭.61. 12. 1～平. 5. 3.31 From Dec. 1, '86～Mar. 31, '93	篠 塚 脩 Mr. SHINOZUKA Osamu	13	平.30. 4. 1～令. 3. 3.31 From Apr. 1, '18～Mar. 31, '21	岩 佐 健 司 Dr. IWASA Takeshi
6	平. 5. 4. 1～平. 5. 4.14 From Apr. 1, '93～Apr. 14, '93	高見沢 徹一郎 Dr. TAKAMIZAWA Kanichiro	14	令. 3. 4. 1～令. 5. 3.31 From Apr. 1, '21～Mar. 31, '23	和 田 清 Dr. WADA Kiyoshi
7	平. 5. 7. 1～平.10. 3.31 From Jul. 1, '93～Mar. 31, '98	江 藤 守 總 Dr. ETO Morifusa	15	令. 5. 4. 1～ From Apr. 1, '23 ～ Present	田 村 隆 弘 Dr. TAMURA Takahiro
8	平.10. 4. 1～平.15. 3.31 From Apr. 1, '98～Mar. 31, '03	松 浦 修 平 Dr. MATSUURA Shuhei			

名誉教授 Emeritus Professor

古野 哲男	占部 正義	高山 義邦	三瀬 皓愛	平原 洋和	松浦 修平	森山 三千彦	平田 洋輔
肥後 昭治	廣瀬 寛	森 博幸	緒方 優	田原 良信	剣田 貫治	國府 俊則	樋口 栄作
崎山 強	三村 洋史	河野 行雄	濱田 英介	望月 高明	桑原 裕史	林田 義伸	西村 德行
佐藤 浅次	山中 昇	野町 俊文	岩佐 健司	小塚 和人	松崎 賜	中村 博文	

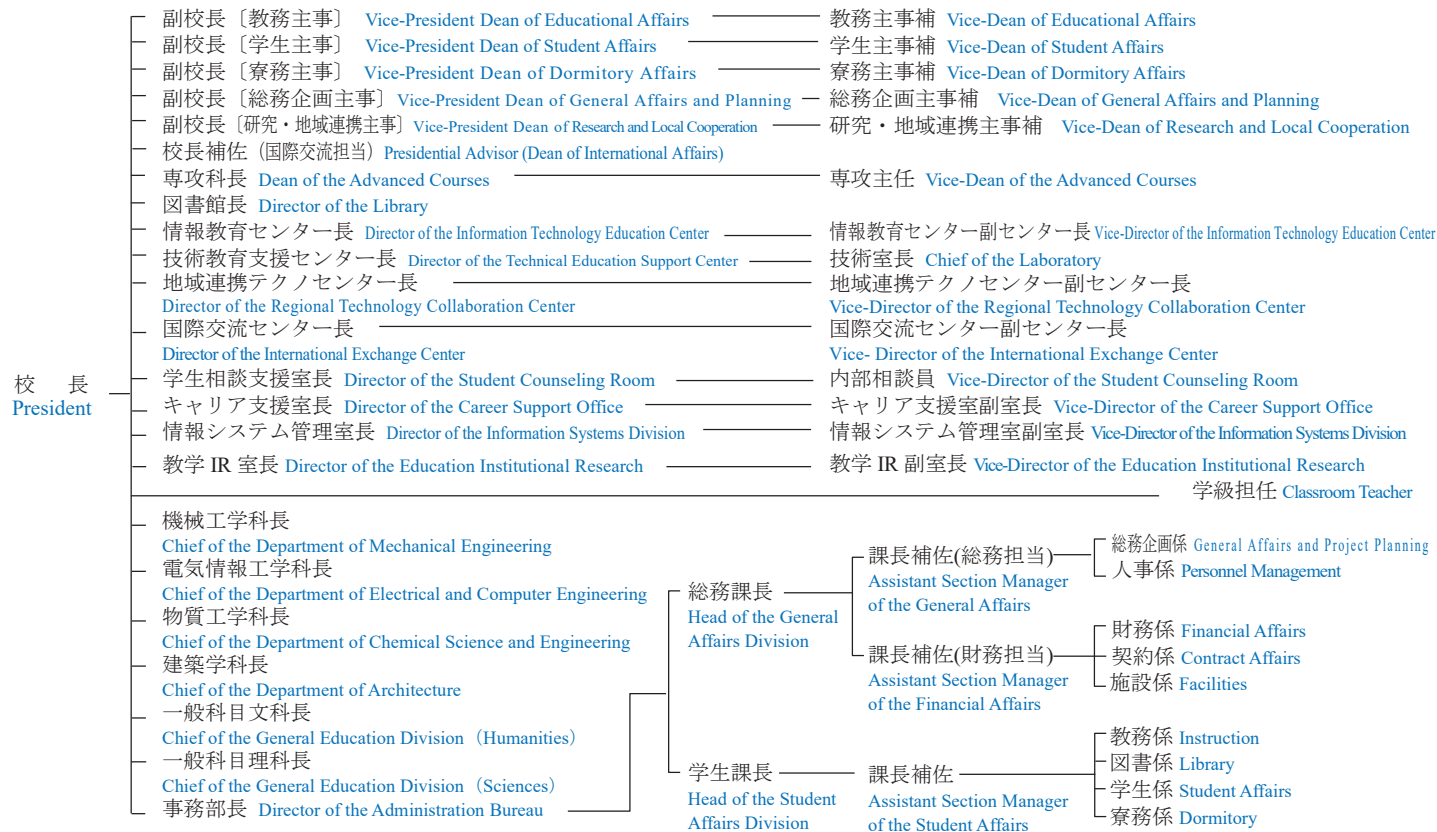
組織概要 Organization

■現員 Present Number of Staff

令和 7 年 4 月 1 日現在 As of Apr. 1, 2025

区 分 Classification	教 育 職 員 Academic Staff					事務系職員 Administrative Staff	技術職員 Technical Staff	看護師 Nurse	計 Total
	校 長 President	教 授 Professor	准教授 Associate Professor	講 師 Assistant Professor	助 教 Research Associate				
現 員 Present Number	1	21	22	1	13	28	12	1	99

■組織図 Organization



■役職員 Executives

校 長 President	田 村 隆 弘 TAMURA Takahiro
校長代行 Acting President	土 井 猛 志 DOI Takeshi

副校長〔教務主事〕 Vice-President Dean of Educational Affairs	土 井 猛 志 DOI Takeshi
副校長〔学生主事〕 Vice-President Dean of Student Affairs	永 松 幸 一 NAGAMATSU Koichi
副校長〔寮務主事〕 Vice-President Dean of Dormitory Affairs	若 生 潤 一 WAKOU Junichi
副校長〔総務企画主事〕 Vice-President Dean of General Affairs	清 山 史 朗 KIYOYAMA Shiro
副校長〔研究・地域連携主事〕 Vice-President Dean of Research and Social Cooperative Affairs	岩 熊 美奈子 IWAKUMA Minako
副校長〔専攻科長〕 Vice-President Dean of the Advanced Courses	野 口 大 輔 NOGUCHI Daisuke
校長補佐（国際交流担当） Presidential Advisor (Dean of International Affairs)	岩 熊 美奈子 IWAKUMA Minako
図書館長 Director of the Library	笹 谷 浩 一 郎 SASATANI Koichiro
情報教育センター長 Director of the Information Technology Education Center	丸 田 要 MARUTA Kaname
技術教育支援センター長 Director of the Technical Education Support Center	田 中 寿 TANAKA Hisashi
地域連携テクノセンター長 Director of the Regional Technology Collaboration Center	杉 本 弘 文 SUGIMOTO Hirofumi
国際交流センター長 Director of the International Exchange Center	岩 熊 美奈子 IWAKUMA Minako
学生相談支援室長 Director of the Student Counseling Room	田 村 理 恵 TAMURA Rie
キャリア支援室長 Director of the Career Support Office	山 下 敏 明 YAMASHITA Toshiaki
情報システム管理室長 Director of the Information Systems Division	臼 井 昇 太 USUI Shota
教学 IR 室長 Director of the Education Institutional Research	田 中 守 TANAKA Mamoru

機械工学科長 Chief of the Dep. of Mechanical Engineering	白 岩 寛 之 SHIRAIWA Hiroyuki
電気情報工学科長 Chief of the Dep. of Electrical and Computer Engineering	野 地 英 樹 NOJI Hideki
物質工学科長 Chief of the Dep. of Chemical Science and Engineering	高 橋 利 幸 TAKAHASHI Toshiyuki
建築学科長 Chief of the Dep. of Architecture	小 原 聡 司 OBARA Satoshi
一般科目文科長 Chief of the General Education Division (Humanities)	笹 谷 浩 一 郎 SASATANI Koichiro
一般科目理科長 Chief of the General Education Division (Sciences)	武 田 誠 司 TAKEDA Seiji

事務部長 Director of the Administration Bureau	増 田 徹 MASUDA Toru
総務課長 Head of the General Affairs Division	宮 浦 伸 生 MIYURA Nobuo
課長補佐（総務担当） Assistant Section Manager of the General Affairs	
課長補佐（財務担当） Assistant Section Manager of the Financial Affairs	新 西 昭 子 SHINNISHI Shoko
学生課長 Head of the Student Affairs Division	深 井 明 FUKAI Akira
課長補佐 Assistant Section Manager of Student Affairs	

一般科目は、全学生が共通に学ぶもので、総時間数の半分弱を占めています。人間として、また社会人として必要な知識・教養を身につけることと、機械工学・電気情報工学・物質工学・建築学の各学科に共通な学問の基礎を養うことを目的とするものです。そのため、高校と大学の間にあるような授業内容の重複を避け、専門科目との関連も考慮して、5年間を通じて効果的な編成を工夫しています。低学年では、数学・英語・国語をはじめ高校に相当した科目が置かれており、3年では外国人講師による英会話の授業もあります。高学年では、歴史学・哲学・ドイツ語など大学の教養課程と同等の内容を学ぶようになっていきます。さらに1年から3年までは、毎週特別活動の時間を設けて、豊かな人間性と社会性の充実を目指しています。

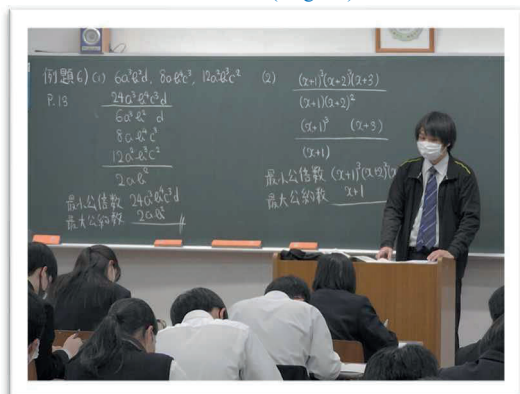
専攻科では、基礎工学及び専門工学を学ぶのに必要な基礎能力の充実に向けて、数学・物理・情報処理関連の科目が開講され、また、国際社会に貢献できる高度な社会性の育成に向けて、英語をはじめ人文・社会科学系の諸科目が開講されています。

General education is essential to all the students regardless of what departments they belong to, and covers nearly half of the total hours of our lessons. We aim to help them acquire a wide range of knowledge which is necessary to be a good member of society, and build solid fundamentals for their study in each department. Based on rational and efficient policy, we have designed an effective curriculum, which enables them to avoid educational redundancy that tends to occur between senior high schools and universities.

In the lower grades, students take the same subjects as those of senior high school students, such as mathematics, Japanese, English, etc. They also have an English conversation class by a native speaker of English in the third grade. They also participate in special curricular activities once a week in order to foster their humanity and social skills. In the upper grades, they cover the fields of liberal arts, such as history, philosophy and German, which are equivalent to those in universities.

In the Advanced Engineering Course, students take subjects such as mathematics, physics and information processing, which deepen the grounding in fundamental engineering and specialized engineering. We also provide classes of humanities and social science, through which we aim to bring up engineers who are able to contribute to the global benefit.

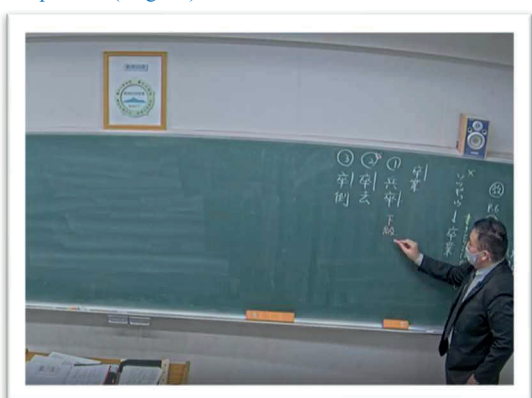
基礎数学Ⅰ（1年）
Fundamental Mathematics I (1st grade)



化学（1年）
Chemistry (1st grade)



国語（1年）
Japanese (1st grade)



微分積分学Ⅱ（3年）
Differential and Integral Calculus II (3rd grade)



氏 名 Name		職 名 Title	担 当 科 目 Subjects	備 考 Notes
人 文 社 会	関 幹 雄 SEKI Mikio	准教授 博士(文学) Associate Professor(Ph.D.)	国語・中国文化論 (専攻科) 中国古典学	教務主事補 Vice-Dean of Edu Affairs
	吉 岡 佑 馬 YOSHIOKA Yuma	助 教 博士(文学) Assistant Professor(Ph.D.)	国語・国際文化論Ⅲ (専攻科) 文章表現法	2 A 学級担任 2 A Classroom teacher
	田 村 理 恵 TAMURA Rie	教 授 Professor	総合社会Ⅱ・総合社会Ⅲ・比較文化論・国際文化論Ⅱ (専攻科) 歴史学	学生相談支援室長 Director of the Student Counseling Room
	高 畑 菜 子 TAKAHATA Nako	助 教 Assistant Professor	総合社会Ⅰ・総合社会Ⅲ・国際文化論Ⅳ・思想文化論 (専攻科) 倫理学	1 M 学級担任 1 M Classroom teacher
外 国 語	笹 谷 浩一郎 SASATANI Koichiro	教 授 Professor	英語コミュニケーションⅡ・英文法Ⅰ・選択英語・ 英米文化論・国際文化論Ⅰ (専攻科) 総合英語・実用英語	一般科目文科长 Chief of the Department 図書館長 Director of the Library
	栢 山 剛 HASHIYAMA Takeshi	教 授 Professor	英語Ⅲ・英語Ⅴ・英文法Ⅱ	教務主事補 Vice-Dean of Edu. Affairs 国際交流センター 副センター長 Vice-Director of International Exchange Center
	宮 沢 幸 MIYAZAWA Sachi	准教授 Associate Professor	英語Ⅰ・英語Ⅳ	1 E 学級担任 1 E Classroom teacher
	佐々木 陽 太 SASAKI Yota	助 教 Assistant Professor	英語Ⅱ・英語コミュニケーションⅠ	
自 然	友 安 一 夫 TOMOYASU Kazuo	教 授 博士(理学) Professor(Dr. of Sci.)	微分積分学Ⅰ・微分積分学Ⅱ・微分方程式	2 C 学級担任 2 C Classroom teacher
	若 生 潤 一 WAKOU Junichi	教 授 博士(理学) Professor(Ph.D.)	物理Ⅰ・応用物理 (専攻科) 一般力学	寮務主事 Dean of Dor. Affairs
	田 中 守 TANAKA Mamoru	准教授 博士(理学) Associate Professor (Dr. of Sci.)	代数学・数学特論・応用数学 (専攻科) 線形数学・解析学特論・統計学特論	寮務主事補 Vice-Dean of Dor. Affairs 教学 IR 室長 Director of the Educational Institutional Research
	野 田 宗 佑 NODA Sosuke	准教授 博士(理学) Associate Professor(Dr. of Sci.)	総合理科・応用物理 (専攻科) 地球環境科学・応用物理特論	2 M 学級担任 2 M Classroom teacher
	美 坂 里 紗 MISAKA Lisa	講 師 博士(工学) Senior Assistant Professor (Dr. of Eng.)	化学	1 A 学級担任 1 A Classroom teacher
	阿 部 敏 生 ABE Toshiki	助 教 博士(理学) Assistant Professor(Dr. of Sci.)	基礎数学Ⅰ	1 C 学級担任 1 C Classroom teacher
	久保田 翔 大 KUBOTA Shodai	助 教 博士(理学) Assistant Professor(Dr. of Sci.)	微分積分学Ⅰ・微分積分学Ⅱ	学生主事補 Vice-Dean of St. Affairs
	愛 甲 将 司 AIKO Masashi	助 教 博士(理学) Assistant Professor(Dr. of Sci.)	物理Ⅱ・応用物理	2 E 学級担任 2 E Classroom teacher
	中 村 博 文 NAKAMURA Hirofumi	嘱託教授 博士(工学) Professor(Dr. of Eng.)	情報基礎Ⅰ／Ⅱ (専攻科) 応用情報工学	
	武 田 誠 司 TAKEDA Seiji	教 授 博士(体育学) Professor (Ph.D.)	保健体育	一般科目理科长 Chief of the Department 内部相談員 Vice-Director of the Student Counseling Room
	永 松 幸 一 NAGAMATSU Koichi	教 授 Professor	保健体育	学生主事 Dean of St. Affairs

教育課程 Curriculum

●一般科目 General Education

授 業 科 目 Subject			科目別 単位数 Credits	学年別配当単位数 Number of Credits by Grades					備 考 Notes	
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
一般科目 General Education	I 群科目 I Group Subjects	国 語 Japanese	8	2	2	2	2			
		総合社会Ⅰ Civics	2	2						
		総合社会Ⅱ Social StudiesⅡ	2		2					
		総合社会Ⅲ Social StudiesⅢ	2			2				
		基礎数学Ⅰ Fundamental MathematicsⅠ	4	4						
		基礎数学Ⅱ Fundamental MathematicsⅡ	2	2						
		微分積分学Ⅰ Differential and Integral CalculusⅠ	4		4					
		代数学 Algebra	2		2					
		微分積分学Ⅱ Differential and Integral CalculusⅡ	4			4				
		数学特論 Particular Mathematics	2			2				
		物 理Ⅰ PhysicsⅠ	2	2						
		物 理Ⅱ PhysicsⅡ	2		2					
		物 理Ⅲ PhysicsⅢ	1		1					
		化 学 Chemistry	4	4						
		総合理科 Life Science・Earth Science	2	C2	MEA2					
		保健体育 Health and Physical Education	10	3	2	2	2	1		
		英 語Ⅰ EnglishⅠ	2	2						
		英 語Ⅱ EnglishⅡ	2		2					
		英 語Ⅲ EnglishⅢ	2			2				
		英 語Ⅳ EnglishⅣ	2				2			
		英 語Ⅴ EnglishⅤ	2					2		
		英語コミュニケーションⅠ English CommunicationⅠ	2	2						
		英語コミュニケーションⅡ English CommunicationⅡ	2		2					
		英語コミュニケーションⅢ English CommunicationⅢ	2			2				
		英語コミュニケーションⅣ English CommunicationⅣ	2				2			
		英文法Ⅰ English GrammarⅠ	2	2						
		英文法Ⅱ English GrammarⅡ	2		2					
		情報基礎Ⅰ Information BasicsⅠ	2	2						
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed			77	MEA27・C29	MEA23・C21	16		8
	Ⅱ 群科目 Ⅱ Group Subjects	美 術 Art	1	1						いずれかを 選択
		音 楽 Music	1	1						
		英米文化論 British and American Culture	2				2			いずれかを 選択
		中国文化論 Chinese Culture	2				2			
		比較文化論 Comparative Culture	2				2			
		思想文化論 Philosophy	2				2			いずれかを 選択
		国際文化論Ⅰ Cross-Cultural StudyⅠ	2					2		
		国際文化論Ⅱ Cross-Cultural StudyⅡ	2					2		
		国際文化論Ⅲ Cross-Cultural StudyⅢ	2					2		
		国際文化論Ⅳ Cross-Cultural StudyⅣ	2					2		
		開講単位小計 Sub-Total of Credits Offered			18	2		8		8
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed			5	1		2		2
		履修単位合計 Total of Credits Completed			82	MEA28・C30	MEA23・C21	16		10
特別活動 Special Curricular Activities			合計授 業時数 hours 144	学年別年間授業時数 Number of hours by Grades						
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd				
				48hrs	48hrs	48hrs				

(注) M：機械工学科 E：電気情報工学科 C：物質工学科 A：建築学科

機械工学科は、人類の活動を支える航空機、自動車、船、鉄道等の輸送機器、エネルギーを生み出す発電機器、未来を拓く宇宙、海洋開発用の機器から、医療・福祉などの身の回りの各種機器まで多方面にわたる大小様々な「物」や「システム」を設計、製作、保守する技術の基礎を学ぶところです。教室で学んだ「理論」を「実験」で確認し、難しい理論でも楽しく理解することができます。機械の理論を応用して設計し、製作するために「製図」により図面化し、それを「ものづくり実習」で習得した加工法により完成させます。自分が考えていた「物」が目の前に完成し、思った通りに作動した時の喜びが味わえます。このように、機械を作る知恵と技術を身につけ、将来、多種多様な機器の製作、開発、研究に対応できる創造力豊かな技術者の養成を目標としています。本校機械工学科の卒業生は女性を含め、国の内外を問わずいろいろな分野で活躍しています。

In the Department of Mechanical Engineering, you will learn the basics of technology for designing, manufacturing and maintaining various sizes of "machines" and "systems" for various purposes. Specifically, the subjects you will learn cover the basics of transportation equipment that supports human activities such as aircraft, automobiles, ships and railways, power generation equipment that generates energy, space and ocean development equipment that opens up the future and familiar technologies such as medical and nursing-care equipment. You can check "theories" learned in the classroom by "experiments" and have fun understanding difficult theory. You will be able to design by applying the theory of mechanical engineering, make a drawing for manufacturing with "mechanical drawing", and complete it with the mechanical processing method learned in "manufacturing practice". You will be filled with joy when the "machine" you have been thinking of is completed in front of you and it works as you have expected.

In this way, we aim to nurture engineers with creative ability who can acquire the wisdom and technology of making machines and can support the production, development and research of a wide variety of equipment in the future. Our mechanical engineering graduates, including women, are active in various fields, both inside and outside our country.

機械システム基礎演習(ロボットプログラミング実習)(1年)
Mechanical System Fundamentals Practice (1st grade)



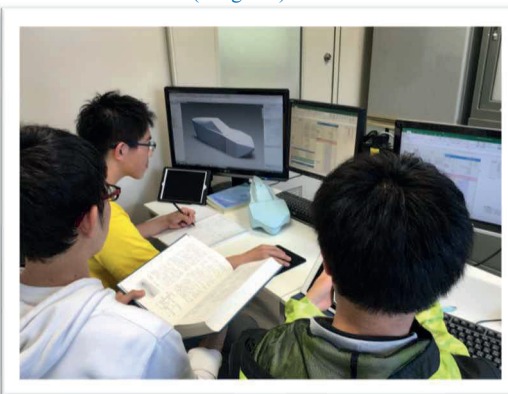
創造設計(4年)
Creative Design (4th grade)



工学実験Ⅰ(ドローン実験)(3年)
Engineering Experiment I (3rd grade)



卒業研究(5年)
Graduation Research (5th grade)



氏 名 Name	職 名 Title	担 当 科 目 Subjects	備 考 Notes
永 野 茂 憲 NAGANO Takanori	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	材料学Ⅰ/Ⅱ・ものづくり実習Ⅱ・工業外国語・工学実験Ⅰ/Ⅱ・卒業研究・機械工学総論Ⅰ (専攻科) 材料強度学・創造デザイン基礎演習・創造デザイン演習Ⅰ	5 M 学級担任 5 M Classroom teacher
土 井 猛 志 DOI Takeshi	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	創造設計・工学実験Ⅱ・卒業研究 (専攻科) 機械電気工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ・C A E	教務主事(校長代行) Dean of Edu. Affairs
高 橋 明 宏 TAKAHASHI Akihiro	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	機械システム基礎演習・材料力学・工学実験Ⅰ/Ⅱ・卒業研究・機械工学総論Ⅱ (専攻科) 材料力学特論・機械電気工学特別実験・機械電気工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	4 M 学級担任 4 M Classroom teacher 技術士(機械部門) P. E. Jp(Mech. Eng.)
白 岩 寛 之 SHIRAIWA Hiroyuki	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	熱力学・熱機関工学・伝熱工学・工学実験Ⅱ/Ⅲ・卒業研究・機械工学総論Ⅱ (専攻科) 熱移動と流れの工学・機械電気工学特別実験・機械電気工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	機械工学科長 Chief of the Department
豊 廣 利 信 TOYOHIRO Toshinobu	嘱託教授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	設計製図・図学・機械設計法・工学実験Ⅲ・機械工学総論Ⅰ/Ⅱ (専攻科) 機械設計特論	
高 木 夏 樹 TAKAGI Natsuki	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	機械システム基礎演習・制御工学・工学実験Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ・卒業研究・機械工学総論Ⅰ (専攻科) 制御工学特論・機械電気工学特別実験・機械電気工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	3 M 学級担任 3 M Classroom teacher
瀬 川 裕 二 SEGAWA Yuji	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	ものづくり実習Ⅰ・機械工作法Ⅰ/Ⅱ・工学実験Ⅰ/Ⅱ・卒業研究・機械工学総論Ⅰ/Ⅱ (専攻科) 変形加工学・機械電気工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	専攻主任 Vice-Dean of the Advanced Courses
橋 口 武 尊 HASHIGUCHI Takeru	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	機械システム基礎演習・設計製図・機構学・創造設計・機械設計法・工学実験Ⅱ/Ⅲ・卒業研究・機械工学総論Ⅰ (専攻科) 創造デザイン演習Ⅱ	寮務主事補 Vice-Dean of Dor. Affairs
松 本 良 雄 MATSUMOTO Yoshio	助 教 博士(理学) Assistant Professor (Dr. of Sci.)		
藤 田 健 太 郎 FUJITA Kentaro	助 教 修士(情報工学) Assistant Professor (M.I.E.)	機械システム基礎演習・ものづくり実習Ⅲ・工業力学・工学実験Ⅱ/Ⅲ・卒業研究・機械工学総論Ⅱ (専攻科) 振動工学・創造デザイン基礎演習・創造デザイン演習Ⅰ	学生主事補 Vice-Dean of St. Affairs

教育課程 Curriculum

●機械工学科 Mechanical Engineering

授 業 科 目 Subject			科目別単位数 Credits	学年別配当単位数 Number of Credits by Grades							備 考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th			
専門科目 Specialized Subject	必修科目 Required Subjects	ものづくり実習Ⅰ Manufacturing Training I	3	3							
		ものづくり実習Ⅱ Manufacturing Training II	3		3						
		ものづくり実習Ⅲ Manufacturing Training III	2			2					
		設計製図 Design and Drawing	8	2	2	2		2			
		工学実験Ⅰ Engineering Experiment I	1			1					
		工学実験Ⅱ Engineering Experiment II	2				2				
		工学実験Ⅲ Engineering Experiment III	2					2			
		創造設計 Creative Design	4				4				
		卒業研究 Graduation Research	10					10			
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		35	5	5	5	6	14			
	I 群科目 I Group Subjects	微分方程式 Differential Equation	2				2				
		応用数学 Applied Mathematics	2				2				
		応用物理 Applied Physics	4			2	2				
		情報基礎Ⅱ Information Basics II	2		2						
		情報処理Ⅰ Information Processing I	1			1					
		情報処理Ⅱ Information Processing II	2				2				
		材料力学 Strength of Materials	5			2	2	1			
		材料学Ⅰ Engineering Materials I	3		1	2					
		材料学Ⅱ Engineering Materials II	1					1			
		熱力学 Thermodynamics	2				2				
		水力学 Hydraulics	2				2				
		機械工作法Ⅰ Manufacturing Process I	2		2						
		機械工作法Ⅱ Manufacturing Process II	2			2					
		機械設計法 Machine Design	3				2	1			
		図 学 Geometry and Graphics	1		1						
		機構学 Theory of Mechanism	2			2					
		工業力学 Engineering Mechanics	2			2					
		熱機関工学 Heat Engine Engineering	2					2			
		伝熱工学 Heat Transfer Engineering	1					1			
		機械力学 Dynamics of Machinery	2					2			
		制御工学 Control Engineering	2				1	1			
		流体力学 Fluid Dynamics	1					1			
		機械システム基礎演習 Mechanical Systems Fundamentals Training	1	1							
		電気工学Ⅰ Electrical Engineering I	1				1				
		電気工学Ⅱ Electrical Engineering II	1					1			
		電気エネルギー工学 Electrical Energy Engineering	1					1			
		工業外国語 Engineering English	2					2			
		計測工学 Measurement and Instrumentation	1				1				
		技術者倫理概論 Introduction to Ethics for Engineer	1					1			
		機械工学総論Ⅰ General Mechanical Engineering I	2					2			
		機械工学総論Ⅱ General Mechanical Engineering II	1					1			
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		57	1	6	13	19	18			
	II 群科目 II Group Subjects	校外実習 Training in Manufacture	1				1				
		開講単位小計 Sub-Total of Credits Offered	1				1				
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed										
履修単位合計 Total of Credits Completed	専門科目計 Specialized Subject Credits		92	6	11	18	25	32			
	一般科目計 General Subject Credits		82	28	23	16	10	5			
	合 計 Total of Credits Completed		174	34	34	34	35	37			

電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering

目覚ましい発展を遂げてきた現代の高度情報化社会において、電気・電子及び情報工学は中心的な役割を担っています。産業界のあらゆる分野で電気・電子・情報系の技術者が必要とされ、活躍しています。

本学科では、人間の生活に欠かせない電力エネルギーの発生、輸送及び利用技術、産業用ロボットに代表される制御技術、携帯電話やテレビ等に使用される情報通信技術、コンピュータに関するハードウェア・ソフトウェア技術、さまざまな電子・電気機器に応用される半導体や回路技術等に関する基礎的な事項について学びます。そして、講義で学んだ理論の理解を確実なものにするために、多くの実験を用意しています。2年から5年までの4年間に少人数のグループで70テーマ余りの実験を行っています。多くの実験を履修することは、実践的技術力を高める上で大いに役立ち、社会的にも高い評価を得ています。また、長期休暇を利用し国内外の会社等を訪問し、技術者に何が求められるかを現地で調査する企業見学旅行を通じて社会の要請にこたえる教育を行っています。

以上のような理論と実験を両輪とした教育を通して、本学科では幅広い視野を持ち国内外活躍する実践的技術者を育成しています。

Electrical and computer engineering take a central part in the present information-oriented societies which have been remarkably developed. The electrical and computer engineers are needed and take an active part in every field on the industrial world.

In this department, the students learn the bases concerning with the generation, transmission and utilization technology of power that is necessary in human life, the automatic control technology such as industrial robots, the information and communication technology used for cellular phones and televisions etc., the hardware and software technology for computer and the electric circuit technology applied to various electronic products. We get ready for many experiments to make sure the understanding of the theory taught in classroom. We have more than 70 themes in these experiments for four years from the second grade to the fifth grade. Taking many experiments is useful for increasing the practical power of technology and is assessed highly in technical field.

Practical engineers with broad view of things and working knowledge are trained through lectures in classrooms and experiments in laboratories.

高専祭（2年）
Technical college festival (2nd grade)



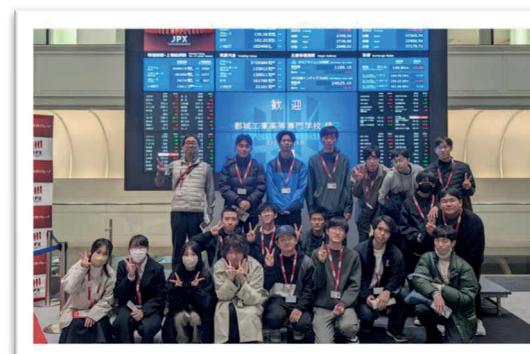
体育競技会（5年）
Sports competition (5th grade)



研修旅行（4年）
A study tour (4th grade)



研修旅行（4年）
A study tour (4th grade)



氏 名 Name	職 名 Title	担 当 科 目 Subjects	備 考 Notes
永 野 孝 NAGANO Takashi	嘱託教授 博士(工学) Professor Emeritus (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気基礎論Ⅱ・電気回路Ⅲ・電気機器・ 電気情報工学実験 (専攻科) パワーエレクトロニクス	
濱 田 次 男 HAMADA Tsugio	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気磁気学・電気情報工学実験・卒業研究 (専攻科) 電磁気学特論	
野 地 英 樹 NOJI Hideki	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気基礎論Ⅰ・電気機器・電気電子情報設計・ 電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・卒業研究 (専攻科) 電子計測特論・電子物性工学・機械電気工学特論・ 専攻科特別研究Ⅰ	電気情報工学科長 Chief of the Department
臼 井 昇 太 USUI Shota	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気回路Ⅰ・制御工学・情報ネットワーク・ 電気電子情報設計・電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・ 卒業研究 (専攻科) 通信工学特論・機械電気工学特論・ 専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	専攻主任 Vice-Dean of the Advanced Courses 情報システム管理室長 Director of the Information Systems Division
白 濱 正 尋 SHIRAHAMA Masahiro	准教授 修士(工学) Associate Professor (M.E.)	電気情報工学概論・法規及び施設管理・電気材料工学・ 電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・卒業研究 (専攻科) 電子デバイス	5 E 学級担任 5 E Classroom teacher
小 森 雅 和 KOMORI Masakazu	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気電子情報設計・通信工学・特活 電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・卒業研究 (専攻科) 情報システム工学・機械電気工学特別実験	3 E 学級担任 3 E Classroom teacher
赤 木 洋 二 AKAKI Yoji	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・電気回路Ⅱ・半導体工学・ 電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・卒業研究 (専攻科) 電気回路特論・創造デザイン基礎演習・ 創造デザイン演習Ⅰ・専攻科特別研究Ⅱ	4 E 学級担任 4 E Classroom teacher
田 中 寿 TANAKA Hisashi	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・論理回路・電子回路・電気情報工学実験・ 電気情報工学ゼミ・卒業研究	技術教育支援センター長 Director of the Technical Education Support Center
丸 田 要 MARUTA Kaname	准教授 博士(情報工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	電気情報工学概論・オペレーティングシステム・知能情報処理・ 電気情報工学実験・電気情報工学ゼミ・卒業研究 (専攻科) 機械電気工学特別実験・創造デザイン演習・ 専攻科特別研究Ⅱ	情報教育センター長 Director of the Information Technology Education Center
小 玉 昂 史 KODAMA Takafumi	助 教 修士(工学) Assistant Professor (M.E.)		内地研究員 (宮崎大学)
川 崎 剛 輝 KAWASAKI Goki	助 教 修士(工学) Assistant Professor (M.E.)	電気情報工学概論・回路網理論・電気情報工学実験・ 電気情報工学ゼミ	寮務主事補 Vice-Dean of Dor. Affairs

教育課程 Curriculum

●電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering

授 業 科 目 Subject			科目別単位数 Credits	学年別配当単位数 Number of Credits by Grades					備 考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
専門科目 Specialized Subject	必修科目 Required Subjects	電気情報工学実験 Experiments in Electrical and Computer Engineering	15		4	4	4	3	
		卒業研究 Graduation Research	10					10	
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed	25		4	4	4	13	
	I 群科目 I Group Subjects	微分方程式 Differential Equation	2				2		
		応用数学 Applied Mathematics	2				2		
		応用物理 Applied Physics	4			2	2		
		情報基礎Ⅱ Information Basics II	2		2				
		電気基礎論Ⅰ Introduction to Electricity I	2	2					
		電気基礎論Ⅱ Introduction to Electricity II	2	2					
		電気磁気学 Electromagnetism	5			2	3		
		電気回路Ⅰ Electric Circuits I	2		2				
		電気回路Ⅱ Electric Circuits II	2		2				
		電気回路Ⅲ Electric Circuits III	2			2			
		回路網理論 Network Theory	2				2		
		電子回路 Electronic Circuits	4			2	2		
		半導体工学 Semiconductor Engineering	2				2		
		電気材料工学 Electric Materials Engineering	2					2	
		プログラミング言語入門 Introductory programming language	1	1					
		プログラミング言語Ⅰ Programming Languages I	2		2				
		プログラミング言語Ⅱ Programming Languages II	2			2			
		論理回路 Logical Circuits	2			2			
		計算機工学 Computer Engineering	2				2		
		電気機器 Electrical Machinery	4			2	2		
		計測工学 Measurement Engineering	2					2	
		制御工学 Control Engineering	2				2		
		通信工学 Communication Engineering	2					2	
		電気情報工学概論 Introduction to Electrical and Information Engineering	1	1					
		電気電子情報設計 Electric Design	3					3	
		電気情報工学ゼミ Seminar on Electrical and Computer Engineering	2				2		
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed			60	6	8	14	
	II 群科目 II Group Subjects	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2					2	8 単位を 選択
		電力輸送工学 Power Transmission Engineering	2					2	
		高電圧工学 High Voltage Engineering	2					2	
		法規及び施設管理 Law and Regulation on Facilities	1					1	
		電気製図 Electrical Drawing	1					1	
		知能情報処理 Intelligence Information Processing	2					2	
		オペレーティングシステム Operating System	2					2	
		電磁波工学 Electro-magnetic Wave Engineering	2					2	
		情報ネットワーク Information Network	2					2	
		校外実習 Training in Manufacture	1				1		
		開講単位小計 Sub-Total of Credits Offered			17			1	
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed			8				8	
履修単位合計 Total of Credits Completed	専門科目計 Specialized Subject Credits	93	6	12	18	27	30		
	一般科目計 General Subject Credits	82	28	23	16	10	5		
	合 計 Total of Credits Completed	175	34	35	34	37	35		

近年、化学産業の分野で技術革新が目覚ましく、高度で多様な機能をもつ新素材や機能性生体材料をつくることが可能となっています。これらの高機能材料をつくる技術に対応するため、平成7年度に工業化学科を物質工学科に改組しました。

本学科では、1～3年で数学、物理、化学、情報基礎などの基礎科目と、分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学などの専門の基礎科目を履修し、4年になると、「物質工学コース」と「生物工学コース」の2つのコースから、どちらかのコースを選び、それぞれの専門科目を履修します。

物質工学コースでは、さまざまな化学物質や材料についての性質と、有機物質、無機物質、高分子物質などの合成についての理論と技術を履修します。

生物工学コースでは、生物化学、遺伝子工学、微生物工学などに基づいたバイオテクノロジーに関する幅広い知識と応用技術を履修します。

The latest remarkable technological innovation in chemical industries makes it possible to produce new materials and biomaterials with many excellent functions. In order to cope within the high-functional technology, the Department of Industrial Chemistry was reorganized in 1995 to become the Department of Chemical Science and Engineering.

The students from the first to third grade in this department are taught basic subjects (mathematics, physics, chemistry, and information processing etc.) and basic technical subjects (analytical chemistry, organic chemistry, inorganic chemistry, physical chemistry and biochemistry etc.). In the fourth grade, the students are required to choose either of two courses, “Material Engineering Course” or “Bioengineering Course” and take technical subjects in each of their selected courses.

In the Material Engineering Course, they study theories and technologies of the properties of materials and syntheses of organic, inorganic, polymeric materials.

In the Bioengineering Course, they study broad knowledges and applied biotechnology based on biochemistry, genetic engineerings, and microbiological engineerings.

生物工学実験（4年）
Experiments in Bioengineering (4th grade)



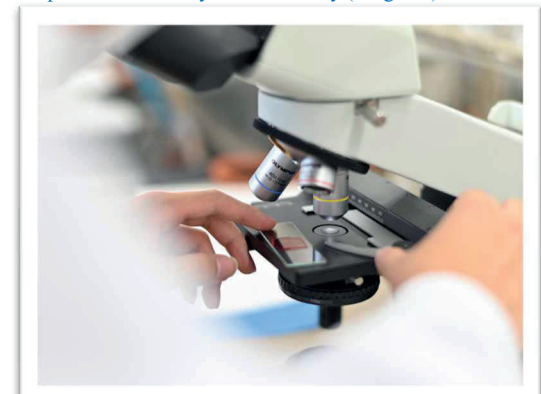
基礎化学実験（1年）
Experiments in Fundamental Chemistry (1st grade)



分析化学実験（1年）
Experiments in Analytical Chemistry (1st grade)



分析化学実験（1年）
Experiments in Analytical Chemistry (1st grade)



氏 名 Name	職 名 Title	担 当 科 目 Subjects	備 考 Notes
山 下 敏 明 YAMASHITA Toshiaki	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	有機化学Ⅰ/Ⅱ・工業化学英語・有機化学実験・機器分析実験・ 物質工学演習・卒業研究 (専攻科) 反応有機化学・有機光化学・科学技術英語・物質工学特別実験	キャリア支援室長 Director of the Career Support Office
清 山 史 朗 KIYOYAMA Shiro	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	化学工学Ⅰ・反応工学・機器分析実験・物質工学実験・化学工学実験・ 物質工学演習・卒業研究 (専攻科) 微粒子工学・創造デザイン基礎演習・物質工学特別実験・ 物質工学特論・専攻科特別研究Ⅰ	総務企画主事 Vice-President Dean of General Affairs
野 口 大 輔 NOGUCHI Daisuke	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	機器分析・無機材料化学・電子材料工学・物質工学実験・物質工学演習・ 卒業研究 (専攻科) 応用触媒工学・無機機能性材料・創造デザイン演習・ 新素材論・物質工学特別実験・物質工学特論・専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	専攻科長 Dean of the Advanced Courses 専攻主任 Vice-Dean of the Advanced Courses
岩 熊 美 奈 子 IWAKUMA Minako	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	分析化学・環境工学・工業熱力学・分離工学・安全工学・物質工学実験・ 機器分析実験・物質工学演習・卒業研究 (専攻科) 水質環境工学・新素材論・物質工学特別実験・物質工学特論・ 専攻科特別研究Ⅰ	校長補佐(国際交流担当) Presidential Advisor (Dean of International Affairs) 研究・地域連携主事 Vice-President Dean of Research and Local Cooperation 国際交流センター長 Director of the International Exchange Center
高 橋 利 幸 TAKAHASHI Toshiyuki	教 授 博士(理学) Professor (Dr. of Sci.)	生物化学・酵素工学・食品工学・基礎化学実験・生物工学実験・ 生物反応工学実験・生物工学演習・卒業研究 (専攻科) 生物物理化学・新素材論・物質工学特別実験	物質工学科長 Chief of the Department
野 口 太 郎 NOGUCHI Taro	教 授 博士(理学) Professor (Dr. of Sci.)	工業英語・分子生物学・細胞・遺伝子工学・分析化学実験・生物工学実験・ 生物反応工学実験・生物工学演習・卒業研究 (専攻科) 蛋白質工学・科学技術英語・物質工学特別実験・物質工学特論・ 専攻科特別研究Ⅰ/Ⅱ	総務企画主事補 Vice-Dean of General Affairs 研究・地域連携主事補 Vice-Dean of Research and Local Cooperation
福 留 功 博 FUKUDOME Norihiro	准教授 Associate Professor	高分子化学・有機材料化学・生体高分子・分析化学実験・無機化学実験・ 機器分析実験・生物工学実験・生物工学演習・卒業研究 (専攻科) 機能性高分子・新素材論・物質工学特別実験	
岡 部 勇 二 OKABE Yuji	准教授 博士(薬学) Associate Professor (Dr. of Pha.)	物理化学・電気化学・有機化学実験・物理化学実験・物質工学演習・ 卒業研究 (専攻科) 化学反応論・科学技術英語・物質工学特別実験・ 創造デザイン演習Ⅰ	5 C 学級担任 5 C Classroom teacher
金 澤 亮 一 KANAZAWA Ryoichi	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	設計製図・化学工学Ⅱ・輸送現象論・基礎化学実験・化学工学実験・ 物質工学演習・卒業研究 (専攻科) 移動現象論・新素材論・物質工学特別実験	3 C 学級担任 3 C Classroom teacher
藤 森 崇 夫 FUJIMORI Takao	准教授 博士(理学) Associate Professor (Dr. of Sci.)	基礎化学・無機化学・量子化学・無機化学実験・物理化学実験・ 物質工学実験・物質工学演習・校外実習・卒業研究 (専攻科) 無機合成化学・科学技術英語・物質工学特別実験	4 C 学級担任 4 C Classroom teacher
平 沢 大 樹 HIRASAWA Hiroki	助 教 博士(工学) Assistant Professor (Dr. of Eng.)	微生物工学・生物工学・分析化学実験・生物反応工学実験・ 生物工学演習・卒業研究 (専攻科) 分子生態学・科学技術英語・専攻科特別研究Ⅱ	学生主事補 Vice-Dean of St. Affairs

教育課程 Curriculum

●物質工学科 Chemical Science and Engineering

授 業 科 目 Subject		科目別 単位数 Credits	学年別配当単位数 Number of Credits by Grades				
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
専門科目 Specialized Subject	必修科目 Required Subjects	基礎化学実験 Experiments in Fundamental Chemistry	2	2			
		分析化学実験 Experiments in Analytical Chemistry	4	2	2		
		無機化学実験 Experiments in Inorganic Chemistry	2		2		
		有機化学実験 Experiments in Organic Chemistry	2		2		
		物理化学実験 Experiments in Physical Chemistry	2			2	
		機器分析実験 Experiments in Instrumental Analysis	2			2	
		卒業研究 Graduation Research	10				10
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		24	4	2	4	4
	I 群科目 I Group Subjects	微分方程式 Differential Equation	2			2	
		応用数学 Applied Mathematics	2			2	
		応用物理 Applied Physics	4		2	2	
		情報基礎Ⅱ Information BasicsⅡ	2	2			
		情報処理 Information Processing	1	1			
		設計製図 Design and Drawing	2	2			
		分析化学 Analytical Chemistry	2	2			
		有機化学Ⅰ Organic ChemistryⅠ	2	2			
		有機化学Ⅱ Organic ChemistryⅡ	2		2		
		無機化学 Inorganic Chemistry	2		2		
		物理化学 Physical Chemistry	4		2	2	
		生物化学 Biological Chemistry	2		2		
		化学工学Ⅰ Chemical EngineeringⅠ	2		2		
		化学工学Ⅱ Chemical EngineeringⅡ	2			2	
		機器分析 Instrumental Analysis	2			2	
		高分子化学 Polymer Chemistry	1			1	
		電気化学 Electrochemistry	1				1
		生物工学 Bioengineering	2				2
		工業化学英語 Engineer English in Chemistry	2		2		
		工業英語 Industrial English	2			2	
		反応工学 Chemical Reaction Engineering	2				2
		安全工学 Safety Engineering	1				1
		基礎化学 Fundamental Chemistry	2	2			
		電気工学基礎 Fundamentals of Electrical Engineering	2				2
		分離工学 Separation Engineering	1				1
		生体高分子 Biopolymer	1				1
		量子化学 Quantum Chemistry	1				1
		食品工学 Food Engineering	1				1
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		52	11	14	15	12
	物質工学 コース Materials Engineering Course	必修科目 Required Subjects	化学工学実験 Experiments in Chemical Engineering	4			
			物質工学実験 Experiments in Material Engineering	2		2	
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed	6			2	4
		I 群科目 I Group Subjects	有機材料化学 Organic Material Chemistry	2		2	
			無機材料化学 Inorganic Material Chemistry	2		2	
			電子材料工学 Electronic Materials Engineering	2			2
			工業熱力学 Industrial Thermodynamics	1			1
			輸送現象論 Transport Phenomena	2			2
			物質工学演習 Exercises in Material Engineering	1		1	
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed	10			5	5
	履修単位計 Sub-Total of Credits Completed		16			7	9
	生物工学 コース Biological Engineering Course	必修科目 Required Subjects	生物反応工学実験 Experiments in Bioreactional Engineering	4			4
			生物工学実験 Experiments in Bioengineering	2		2	
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed	6			2	4
		I 群科目 I Group Subjects	酵素工学 Enzymatic Engineering	2			2
			微生物工学 Microbiological Engineering	2			2
			細胞・遺伝子工学 Cell and Gene Engineering	1			1
			分子生物学 Molecular Biology	2		2	
			環境工学 Environmental Technology	2		2	
			生物工学演習 Exercises in Biological Engineering	1		1	
		履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed	10			5	5
	履修単位計 Sub-Total of Credits Completed		16			7	9
	II 群科目 II Group Subjects	校外実習 Training in Manufacture	1			1	
	開講単位小計 Sub-Total of Credits Offered		1			1	
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed						
履修単位合計 Total of Credits Completed		専門科目計 Specialized Subject Credits	92	4	13	18	31
		一般科目計 General Subject Credits	82	30	21	16	5
		合 計 Total of Credits Completed	174	34	34	34	36

建築学科 Architecture

人々が生活し活動する場は、住宅から超高層事務所ビルへ、小さな室内空間から広大な都市空間へと展開しています。これらの場に対し、快適な環境としての、適切な活動の場としてのあり方、及びこれらの実現技術を深く考えるのが建築学です。

建築学は、
建築空間の機能性と芸術性をあつかう 計画・意匠部門
建築物の合理的構造や安全性を考える 構造・防災部門
建築空間の衛生面や快適性をあつかう 環境・設備部門
建築生産の合理化や経済性を考える 材料・施工部門
によって構成され、文科・理科両方の学問を基礎とする幅広い総合的な学問であり、個々人の興味と適性に応じて楽しく学ぶことができます。

The place where we live and work varies in size, from houses to skyscrapers to vast spaces in cities. Architecture is the science that studies how a place may be made a comfortable environment or suitable place to live and work in.

Architecture consists of :

- 1) the study of planning and design, dealing with how architectural space may be functional and artistic
- 2) the study of structure and prevention of disaster, dealing with how architecture should be structurally rational and safe
- 3) the study of environment and facilities dealing with how architectural space should be sanitary and comfortable
- 4) the study of materials and construction, dealing with how construction should be rationalized and economical

Architecture is an integrated science based on a wide range of studies in both the humanities and sciences, you may enjoy studying it according to your interest and aptitude.

“建築甲子園”優秀賞受賞作品「始まりの地」(3年)
Architecture Design Exercises (3rd grade)



卒業設計 作品と構想の発表会 (5年)
Graduation Experiments (5th grade)



“建築甲子園”優秀賞受賞者(3年)
Architecture Design Exercises (3rd grade)



卒業研究 木材の圧縮強度実験(5年)
Graduation Research (5th grade)



氏 名 Name	職 名 Title	担 当 科 目 Subjects	備 考 Notes
小 原 聡 司 OBARA Satoshi	教 授 博士(工学) Professor (Dr. of Eng.)	建築環境工学・建築学実験・建築設計演習・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 居住熱環境学・建築情報処理・創造デザイン演習	建築学科長 Chief of the Department
横 山 秀 樹 YOKOYAMA Hideki	准教授 Associate Professor	建築設計演習・建築史・建築生産学・建築法規・建築デザイン・建築学研究・卒業研究	5 A 学級担任 5 A Classroom teacher
中 村 裕 文 NAKAMURA Hirofumi	准教授 Associate Professor	建築デザイン基礎・建築製図・建築 CAD 演習・都市計画学・コンピュータ援用学・測量学・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 建築 CAD 設計演習・創造デザイン基礎演習・創造デザイン演習	3 A 学級担任 3 A Classroom teacher
山 本 剛 YAMAMOTO Takeshi	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	構造力学Ⅰ・建築構造Ⅰ・建築構造Ⅱ・構造力学Ⅲ・建築防災・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 地震工学・構造設計演習・専攻科特別研究Ⅰ・専攻科特別研究Ⅱ・建築英語・建築学特論	4 A 学級担任 4 A Classroom teacher
杉 本 弘 文 SUGIMOTO Hirofumi	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	建築計画Ⅱ・建築計画Ⅲ・建築設計演習・建築デザイン基礎・居住空間計画・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 建築設計演習・建築計画学・生活環境デザイン論・地域デザイン特論・専攻科特別研究Ⅰ・専攻科特別研究Ⅱ・建築英語・建築学特論	地域連携テクノセンター長 Director of the Regional Technology Collaboration Center 国際交流センター 副センター長 Vice-Director of the International Exchange Center 研究・地域連携主事補 Vice-Dean of Research and Local Cooperation
大 岡 優 OOKA Yu	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	構造力学Ⅰ・構造力学Ⅱ・木質構造・構造演習・建築防災・建築学実験・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 構造設計演習・木質構造学特論・建築材料実験特論・専攻科特別研究Ⅱ	専攻主任 Vice-Dean of the Advanced Courses
浅 野 浩 平 ASANO Kohei	准教授 博士(工学) Associate Professor (Dr. of Eng.)	構造力学Ⅰ・建築防災・材料力学・RC 構造学・建築学実験・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 構造設計演習・コンクリート構造特論・建築材料施工特論・建築材料実験特論	教務主事補 Vice-Dean of Edu. Affairs
牟 田 諒 太 MUTA Ryota	助 教 博士(工学) Assistant Professor (Dr. of Eng.)	建築設備・建築学実験・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 専攻科特別研究Ⅰ・専攻科特別研究Ⅱ・建築英語・建築学特論	寮務主事補 Vice-Dean of Dor. Affairs
富 久 亜 以 TOMIHISA Ai	助 教 博士(工学) Assistant Professor (Dr. of Eng.)	建築計画Ⅰ・建築設計演習・建築学研究・卒業研究 (専攻科) 専攻科特別研究Ⅰ・専攻科特別研究Ⅱ・建築英語・建築学特論	学生主事補 Vice-Dean of St. Affairs

教育課程 Curriculum

● 建築学科 Architecture

授 業 科 目 Subject			科目別単位数 Credits	学年別配当単位数 Number of Credits by Grades				
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
専門科目 Specialized Subject	必修科目 Required Subjects	建築設計演習 Architectural Design Exercises	15	2	3	4	6	
		卒業研究 Graduation Research	10					10
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		25	2	3	4	6	10
	I 群科目 I Group Subjects	微分方程式 Differential Equation	2				2	
		応用数学 Applied Mathematics	2				2	
		応用物理 Applied Physics	4			2	2	
		情報基礎 II Information Basics II	2		2			
		建築計画 I Planning of Architecture I	2			2		
		建築計画 II Planning of Architecture II	2				2	
		建築計画 III Planning of Architecture III	2				2	
		居住空間計画 Dwelling Planning	1		1			
		建築製図 Architectural Drawing	2			2		
		建築CAD演習 Architectural CAD Practice	1					1
		都市計画学 City Planning	2					2
		建築デザイン基礎 Fundamentals of Architectural Design	2	2				
		建築史 History of Architecture	2				2	
		建築デザイン Architectural Design	2					2
		構造力学 I Structural Mechanics I	2		2			
		構造力学 II Structural Mechanics II	2			2		
		構造力学 III Structural Mechanics III	2				2	
		材料力学 Strength of Materials	2			2		
		鋼構造学 Steel Structure	2				2	
		RC構造学 RC Construction	2				2	
		構造演習 Exercises in Construction	2					2
		木質構造 Timber structures	2					2
		建築防災 Building Disaster Prevention	2					2
		コンピュータ援用学 Computer Aided Science	1		1			
		建築材料 Building Materials	2			2		
		建築生産学 Building Production	2					2
		測量学 Surveying	1			1		
		建築環境工学 Architectural Environmental Engineering	4				2	2
		建築設備 Building Equipment	2					2
		建築構造 I Building Construction I	2	2				
		建築構造 II Building Construction II	2		2			
		建築法規 Building Law	1					1
		建築学研究 Seminar	1				1	
		建築学実験 Experiments in Architecture	3			2		1
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed		67	4	8	15	21	19
	II 群科目 II Group Subjects	校外実習 Training in Manufacture	1				1	
	開講単位小計 Sub-Total of Credits Offered		1				1	
	履修単位小計 Sub-Total of Credits Completed							
履修単位合計 Total of Credits Completed		専門科目計 Specialized Subject Credits	92	6	11	19	27	29
		一般科目計 General Subject Credits	82	28	23	16	10	5
		合 計 Total of Credits Completed	174	34	34	35	37	34

●非常勤講師 Part-Time Lecturer

学 科 Department	氏 名 Name	担 当 科 目 Subject	備 考 Notes
一 般 科 目 文 科 General Education (Humanities)	愛 甲 祐 子 AIKO Yuko	国語	
	河 野 幸 子 KAWANO Yukiko	音楽	
	川 畑 清 美 KAWABATA Kiyomi	美術	
	胡 屋 武 志 KOYA Takeshi	選択ドイツ語	宮崎大学教授 Miyazaki Univ.
	逆瀬川 真寿美 SAKASEGAWA Masumi	日本語	
	西 村 徳 行 NISHIMURA Noriyuki	英文法Ⅱ	
	秦 節 子 HATA Setsuko	英文法Ⅰ	
	メインマーケティングアート MAIN MARTIN STUART	英語コミュニケーションⅢ	
一 般 科 目 理 科 General Education (Sciences)	今 村 隼 人 IMAMURA Hayato	代数学	鹿児島国際大学准教授 The International University of Kagoshima
	瓜 田 吉 久 URITA Yoshihisa	保健体育	鹿屋体育大学教授 N.I.F.S. in Kanoya
	小 野 哲 也 ONO Tetsuya	情報基礎Ⅱ	
	久保田 彩 早 KUBOTA Ayasa	基礎数学Ⅱ	
	佐 藤 治 SATO Osamu	物理Ⅲ	
	津 田 幸 子 TSUDA Sachiko	基礎数学Ⅱ	
	松 元 泰 子 MATSUMOTO Yasuko	保健体育	
	向 江 頼 士 MUKAE Raiji	応用数学	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.
	山 口 大 貴 YAMAGUCHI Hiroki	保健体育	鹿屋体育大学講師 N.I.F.S. in Kanoya
	吉 塚 一 典 YOSHIZUKA Kazunori	保健体育	鹿屋体育大学准教授 N.I.F.S. in Kanoya
機 械 工 学 科 Mechanical Engineering	池 田 和 広 IKEDA Kazuhiro	機械設計法・設計製図（ウインチ）	
	佐 藤 浅 次 SATO Asaji	情報処理Ⅰ・情報処理Ⅱ・計測工学・ 機械力学	
	外 山 真 也 TOYAMA Masaya	技術者倫理概論	
	藤 川 俊 秀 FUJIKAWA Toshihide	水力学・工学実験Ⅲ	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.
	房 野 俊 夫 BOUNO Toshio	電気工学Ⅰ・電気工学Ⅱ・電気エネルギー 工学	
電 気 情 報 工 学 科 Electrical and Computer Engineering	井 口 泉 INOKUCHI Izumi	高電圧工学	
	太 田 靖 之 OTA Yasuyuki	エネルギー変換工学	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.
	小 野 哲 也 ONO Tetsuya	プログラミング言語Ⅰ・プログラミン グ言語Ⅱ・プログラミング言語入門	
	加 来 昌 典 KAKU Masanori	計測工学	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.
	畠 中 良 HATANAKA Ryo	電気製図	
	村 野 秀 昭 MURANO Hideaki	電力輸送工学	
	山 森 一 人 YAMAMORI Kunihiro	計算機工学	宮崎大学教授 Miyazaki Univ.
物 質 工 学 科 Chemical Science and Engineering	横 田 光 広 YOKOTA Mitsuhiro	電磁波工学	
	小 野 哲 也 ONO Tetsuya	情報処理	
建 築 学 科 Architecture	加 来 昌 典 KAKU Masanori	電気工学基礎	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.
	石 躍 健 志 ISHIODORI Takeshi	建築設計演習	
	板 越 政 幸 ITAGOE Masayuki	建築設計演習	
	伊 藤 是 清 ITO Korekiyo	建築材料	東海大学教授 Tokai Univ.
専 攻 科 Advanced Courses	平 田 光 春 HIRATA Mitsuharu	鋼構造学	
	内 山 雅 仁 UCHIYAMA Masahito	技術者倫理	
	亀 澤 義 美 KAMEZAWA Yoshimi	科学技術英語	
	外 山 真 也 TOYAMA Masaya	技術者倫理	
	藤 原 稔 FUJIWARA Minoru	技術者倫理	
	丸 田 耕 正 MARUTA Kousei	技術者倫理	
	森 寛 MORI Hiroshi	機械電気工学特別実験・一般化学	
	李 根 浩 LEE Geunho	メカトロニクス特論	宮崎大学准教授 Miyazaki Univ.

専攻科は、高専 5 年間の教育課程の上に 2 年間のより高度な専門的知識と技術を教授し、実践的な技術力を有し、関連領域の知識や技術を有機的に結合できる研究開発型技術者を育成するとともに、良識ある技術者としての人格形成や国際性を育成することを目的として平成 14 年 4 月に設立されました。

専攻科において、所定の単位を修得し、大学改革支援・学位授与機構が行う審査を受けて大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に学士（工学）の学位が取得でき、大学院にも進学できます。また、令和 5 年 4 月からは九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラムが開始されました。本プログラムは、専攻科に在籍しながら九大工学部融合基礎工学科 3～4 年次に在籍し、双方の修了要件単位を取得することで、九州大学から学士（工学）の学位と高専から専攻科の修了証がそれぞれ授与されます。本校の専攻科には、「機械電気工学専攻」「物質工学専攻」及び「建築学専攻」の 3 専攻があります。

機械電気工学専攻

学科で学んだ専門的知識をより深めるため機械工学系と電気工学系に対応した選択科目を開設し、さらに、機械と電気の連携技術に対応できるようにメカトロニクス、パワーエレクトロニクス及び半導体等の新素材を含む先端技術に広く深くかかわる教育を行い、高度に情報化された機械工学と電気工学を統合した設備の設計や開発技術全体を掌握できる能力を持った研究開発型技術者の育成を目指しています。

物質工学専攻

より高度な有機、無機の新素材の製造技術、バイオテクノロジーによる物質生産技術、地球環境の保全のための環境技術などにかかる科目を配置し、化学工業界の要望に応え得る幅広い視野をもったより創造的な技術者の育成を目指しています。

建築学専攻

建築計画及び建築構造に関する高度な解析技術、建築分野でのコンピュータ応用技術、より実践的な建築設計技術にかかる科目を配置し、新しい建築課題や技術革新に対応できる技術者の育成を目指しています。さらに、建築の各分野における諸問題を自ら発見し、解決できる能力を育成します。

The Advanced Engineering Course is a 2-years course of higher education for the graduates of the 5-year program of the College of the Technology.

Students are expected to obtain more advanced, specialized knowledge and technology. This course enables students to cope with creative research & development technologies and to meet a growing need for highly competent engineers in this international world. Under these circumstances, the Advanced Engineering Courses program was established in April 2002.

Students who have obtained the required credits and passed an examination given by the Institution are conferred a bachelor's degree in engineering from National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education after Graduates are also qualified to apply for admission into graduate school. In April 2023, a collaborative education program between Kyushu University's Faculty of Engineering and Kyushu-Okinawa KOSEN was launched. Under this program, students enroll in the third or fourth year of the Department of Interdisciplinary of Engineering of Kyushu University while enrolled in the Advanced Engineering course, and by obtaining the credits required for completion of both courses, they are awarded a bachelor's degree in engineering from Kyushu University and a certificate of completion for the Advanced Engineering course from the KOSEN. The Advanced Engineering Course consists of three courses : Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering, Advanced Course of Chemical Science and Engineering and Advanced Course of Architecture.

Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering

The Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering aims to deepen specialized knowledge of mechanical and electrical engineering and offers some elective subjects to cope with the related fields where they can master mechatronics, power electronics and mechatronic techniques to develop highly sophisticated state-of-the art technology.

This course aims to produce engineers who are capable of designing, developing and producing highly technical industrial products in those related fields.

Advanced Course of Chemical Science and Engineering

The Advanced Course of Chemical Science and Engineering aims to heighten proficiency and expertise in new material of organic and inorganic development and production.

And students will acquire the knowledge and deepen specialized skill in Biotechnology to promote lower environmental burdens.

This course aims to produce creative engineers to cope with the development of the relating fields.

Advanced Course of Architecture

The Advanced Course of Architecture are offered such subjects as more advanced knowledge & techniques in Structural Mechanics, computer skills in the architectural fields and practical skills in design.

This course aims to produce creative engineers who can cope with the problems & technological innovation and are capable of making an original approach to these technical problems to meet the needs of society.

専攻科教育課程 The Advanced Engineering Course Curriculum

●一般科目及び専門共通科目 General and Special Common Subjects

区分 Classification		授業科目 Subject	単位数 Credits	学年別配当 (単位数) 1年 2年 1st 2nd	
一般科目 General Education	必修科目 Required Subjects	総合英語 General English	2	2	
	選択科目 Elective Subjects	実用英語 Practical English	2		2
		知的財産権 Intellectual Property Rights	2		2
		倫理学 Ethics	2	2	
		歴史学 History	2	2	
		中国古典学 Chinese Classics	2	2	
		文章表現法 Japanese Writing	2	2	
	一般科目開設単位小計 General Subject Sub-total Offered		14	10	4
専門科目 Specialized Subject	必修科目 Required Subjects	地球環境科学 Global Environmental Science	2		2
		技術者倫理 Engineering Ethics	2		2
	共通科目 Special common Subjects	線形数学 Linear Mathematics	2	2	
		統計学特論 Special Lecture on Statistics	2		2
		解析学特論 Special Theory of Analysis	2	2	
		一般化学 General Chemistry	2		2
		一般力学 Applied Mechanics	2		2
		応用物理特論 Special Lecture of Applied Physics	2	2	
		応用情報工学 Applied Information Engineering	2	2	
		農学概論 Lecture on the Outlines of Agriculture	2		2
	(共通科目開設単位) (Total of Credits Offered)		20	8	12

●機械電気工学専攻 Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering

区分 Classification		授業科目 Subject	単位数 Credits	学年別配当 (単位数) 1年 2年 1st 2nd	
専門科目 Special advanced Subject	必修科目 Required Subjects	科学技術英語 English on Science and Technology	2	2	
		機械電気工学特別実験 Special Experiment in Mechanical and Electrical Engineering	4	4	
		創造デザイン基礎演習 Creative Design Fundamental Practice	1	1	
		創造デザイン演習Ⅰ Creative Design Practice I	1	1	
		創造デザイン演習Ⅱ Creative Design Practice II	2		2
		実務実習 Business Practical Training	2	2	
		機械電気工学特論 Special Lecture on Mechanical-Electrical Engineering	2	2	
		専攻科特別研究Ⅰ Advanced Graduation Research I	6	6	
		専攻科特別研究Ⅱ Advanced Graduation Research II	8		8
	選択科目 Elective Subjects	材料力学特論 Advanced Strength of Materials	2		2
		変形加工学 Deformation Processing Science	2	2	
		機械設計特論 Special Lecture on Machine Design	2	2	
		CAE Computer Aided Engineering	2		2
		制御工学特論 Advanced Control Engineering	2	2	
		材料強度学 Strength and Fracture of Materials	2		2
		流体力学特論 Special Lecture on Fluid Dynamics	2		2
		熱移動と流れの工学 Heat Transfer and Fluid Flow	2		2
		振動工学 Mechanical Vibration	2		2
		メカトロニクス特論 Advanced Mechatronics	2		2
		電磁気学特論 Advanced Electromagnetism	2		2
		電気回路特論 Special Lectures on Electric Circuit	2	2	
		電子計測特論 Special Lectures on Electronic Instrumentation	2		2
		情報システム工学 Information System Engineering	2	2	
		電子デバイス Electronic Devices	2	2	
		電子材料プロセス工学 Electronic Material for Processing	2		2
		電子物性工学 Electronic Solid-State Engineering	2		2
		気体電子工学 Gaseous Electronics Engineering	2		2
		放電工学 Electric Discharge Engineering	2		2
		パワーエレクトロニクス Power Electronics	2	2	
		通信工学特論 Special Lectures on Communication Engineering	2		2
	(専攻科目開設単位計) (Total of Credits Offered)		70	32	38
	専門科目開設単位小計 Specialized Subject Sub-total Offered		90	40	50
	一般・専門科目開設単位合計 Total of Credits Offered		104	50	54
	一般・専門科目修得単位合計 Total of Credits Completed		62 単位以上		

区分 Classification			授業科目 Subject	単位数 Credits	学年別配当 (単位数)	
					1 年 1st	2 年 2nd
専門 科目 Specialized Subject	必修 科目 Required Subjects	科学技術英語 English in Science and Technology	2	2		
		物質工学特別実験 Special Experiments in Chemical Science and Engineering	4	4		
		創造デザイン基礎演習 Creative Design Fundamental Practice	1	1		
		創造デザイン演習Ⅰ Creative Design Practice I	1	1		
		創造デザイン演習Ⅱ Creative Design Practice II	2		2	
		実務実習 Practical Training	2	2		
		物質工学特論 Special Lectures on Chemical Science and Engineering	2	2		
		専攻科特別研究Ⅰ Advanced Graduation Research I	6	6		
		専攻科特別研究Ⅱ Advanced Graduation Research II	8		8	
	専攻 科目 Special advanced Subjects	選択 科目 Elective Subjects	化学反応論 Chemical Reactions	2		2
			無機合成化学 Inorganic Synthesis Chemistry	2	2	
			反応有機化学 Reaction Organic Chemistry	2	2	
			有機光化学 Organic Photochemistry	2		2
			分子生態学 Molecular Biology and Ecology	2		2
			蛋白質工学 Protein Engineering	2	2	
			生物物理化学 Biophysical Chemistry	2		2
			移動現象論 Transport Phenomena	2		2
			微粒子工学 Microsphere Engineering	2	2	
		応用触媒工学 Applied Catalyst Technology	2	2		
		新素材論 New Materials Development in Chemistry	2		2	
		無機機能性材料 Functional Inorganic Materials	2		2	
		機能性高分子 Functional Polymer	2	2		
		水質環境工学 Water Environmental Engineering	2		2	
		(専攻科目開設単位計) (Total of Credits Offered)			56	30
	専門科目開設単位小計 Specialized Subject Sub-total Offered			76	38	38
	一般・専門科目開設単位合計 Total of Credits Offered			90	48	42
	一般・専門科目修得単位合計 Total of Credits Completed			62 単位以上		

区分 Classification			授業科目 Subject	単位数 Credits	学年別配当 (単位数)			
					1 年 1st	2 年 2nd		
専門 科目 Specialized Subject	必修 科目 Required Subjects	専攻 科目 Special advanced Subjects	建築英語 Architectural English	2	2			
			創造デザイン基礎演習 Creative Design Fundamental Practice	1	1			
			創造デザイン演習Ⅰ Creative Design Practice I	1	1			
			創造デザイン演習Ⅱ Creative Design Practice II	2		2		
			建築設計演習 Architectural Design Exercise	4	4			
			構造設計演習 Structural Design Exercises	4	4			
			建築実務実習 Practice of Architectural Design and Construction	2	2			
			建築学特論 Special Seminar in Architecture	2	2			
			専攻科特別研究Ⅰ Advanced Graduation Research I	6	6			
			専攻科特別研究Ⅱ Advanced Graduation Research II	8		8		
	選択 科目 Elective Subjects	専攻 科目 Special advanced Subjects	建築計画学 Study on Architecture Planning and Design	2	2			
			生活環境デザイン論 Life Environmental Design	2		2		
			地域デザイン特論 Regional Design	2	2			
			居住熱環境学 Dwelling Thermal Environment	2		2		
			鉄骨構造学特論 Advanced Steel Structure	2		2		
			コンクリート構造特論 Advanced Concrete Structure	2		2		
			木質構造学特論 Advanced Lecture on Timber Structures	2	2			
			建築材料施工特論 Advanced Lecture on Building Materials and Construction	2	2			
			建築情報処理 Architectural Information Processing	2	2			
			建築 CAD 設計演習 Computer Aided Architectural Design	2	2			
			建築材料実験特論 Advanced Lecture on Building Materials Experiment	2		2		
			地震工学 Earthquake Engineering	2	2			
			(専攻科目開設単位計) (Total of Credits Offered)			56	36	20
			専門科目開設単位小計 Specialized Subject Sub-total Offered			76	44	32
	一般・専門科目開設単位合計 Total of Credits Offered			90	54	36		
	一般・専門科目修得単位合計 Total of Credits Completed			62 単位以上				

(注) 建築設計演習及び構造設計演習は、いずれかの選択とする。

生産デザイン工学プログラム

Interdisciplinary Engineering Program

本校は4学年になると学科を問わず、全学生が「生産デザイン工学」プログラムを履修するシステムになっています。「生産デザイン工学」プログラムとは、本校の教育理念である「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を目的とした4年間の教育プログラムです。また、本教育プログラムは、「豊かな創造性」、「優れた知性」、「高度な社会性」、「確かな実行力」を学習・教育到達目標として掲げ、各専門工学ばかりでなく、それらの専門分野が複合した幅広い工学領域でも活躍できる実践的技術者を育成できるように構成されています。

さらに、本教育プログラムはJABEEにも対応できるように作られています。JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education) とは、平成11年(1999年)に設立された日本技術者教育認定機構(制度)のことで、大学や専攻科を設置している高等教育機関の教育プログラムの認定審査を行う機関です。本校は平成16年度(2004年度)、「生産デザイン工学」プログラムをJABEEに申請し、平成17年5月、本プログラムが“2004年度認定プログラム”として認定されました。これにより、本校の専攻科修了生は、専門技術の知識と能力を備えた実践的技術者であることが保証され、「修習技術者」の資格を得ることができるようになりました。また、申請により技術士補の免許が得られ、この免許があれば技術者として最高レベルの1つである「技術士」の資格を取るとき、その一次試験が免除されます。

なお、「生産デザイン工学」プログラムは令和8年度(2026年度)まで認定が継続されます。

We have an educational program called Interdisciplinary Engineering Program. The purpose of the program is to train engineers for outstanding personalities, creativities, and problem solving skills, and to prepare them for their future contribution to the international world. This four-year Program is for the students of the fourth-year of the regular course through the upper level of the advanced course.

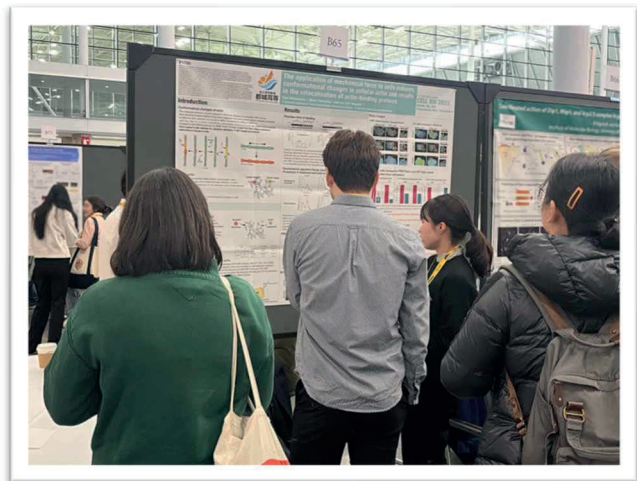
The educational goals of National Institute of Technology, Miyakonojo College are as follows:

- 1) Engineers who are creative
- 2) Engineers who are intelligent
- 3) Engineers who are equipped with higher social skills
- 4) Engineers who can respond and act promptly to problems

This program is to develop engineers who are active in diverse fields as well as in their most confident field of technology.

This program is designed to correspond to JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education). JABEE is a professional accreditation system founded in 1999, whereby outside organizations can fairly evaluate engineering education programs offered in higher educational institutions. National Institute of Technology, Miyakonojo College submitted its Production Engineering Program(in 2015 it was renamed Interdisciplinary Engineering Program) to JABEE in 2004, and it has been authorized since May 2005. As a result, students who complete our advanced course program are certified to be practical technicians with knowledge and skills. In addition, they can apply for an assistant engineer's license. The aforementioned license holders are exempted from taking a preliminary examination of a further advanced engineer's license.

The Certification of the Interdisciplinary Engineering Program remains effective until 2026.



特色ある取り組み Distinctive Program

■ 少年少女科学アカデミー Boys and Girls Science Academy

少年少女科学アカデミーは、小中学生の早期技術者教育および本校学生のグローバル人材育成を行うために設立された組織です。少年少女科学アカデミーが実施するプログラムとして、ベーシックプログラムとアドバンスドプログラムを用意しています。ベーシックプログラムは、小中学生を対象としたもので、研究体験を行い、アドバンスドプログラムは、中学生を対象としたもので、アイデアを生み出すためのトレーニングを行います。

本事業は、平成30年度「KOSEN（高専）4.0」イニシアティブ事業において「次世代を担う少年少女科学アカデミーの設立～グローバル人材育成への架け橋～」の事業名で採択されたもので、小中学校・高専一貫教育に取り組むことで、新産業を牽引する人材育成を目指します。

<少年少女科学アカデミーのWEB サイト>



都城高専 少年少女科学アカデミー

National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College
Boys and Girls Science Academy



①ベーシックプログラム

ベーシックプログラムは、小中学生を対象として家庭学習用のe-learningコンテンツ、実験・実習用教育教材及び本校の教育研究基盤を活用し、本校学生と連携して高度な研究体験を行うことができます。

<ベーシックプログラムの流れ>



<ベーシックプログラムの実験・実習の様子>



2019年度は78名の応募があり、39名の小中学生が受講
2021年度は50名の応募があり、19名の小中学生が受講

An organization, Boys and Girls Science Academy was established to provide an early engineering education for elementary and junior high school students and development of human resources for students in our college. The academy has a basic program for elementary and junior high school students and an advanced program for junior high school students. The former is research experience and the latter is the practice program to create ideas.

This project have been adopted in “KOSEN 4.0” entitled as “The establishment of Boys and Girls Science Academy to bear the next generation - A linking bridge to glocal human resources” in 2018.

We aim for human resource development to lead new industry through the unified elementary and junior high school and KOSEN education program.

②アドバンスドプログラム

アドバンスドプログラムは、中学生を対象とし、「SDGs」を基盤として、研究者・技術者の視点で自主性や協調性、課題解決力を身につけるためのアイデアを生み出すトレーニング(アイデアソン)を行います。

<アドバンスドプログラムの流れ>



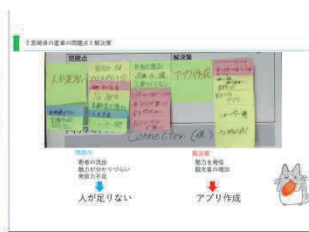
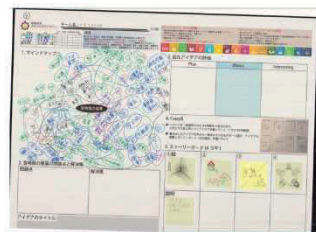
Keyword

- SDGs
- 2050年の日本と世界の未来
- 宮崎県の産業

<アドバンスドプログラム実施(アイデアソン)の様子>



<受講者が作成したマインドマップおよびプレゼン資料>



2022年度、2023年度は14名の中学生が受講

広報活動

<専用Webサイト>



<紹介ムービー(YouTube配信)>



こちらのQRコードから紹介ムービーをご視聴いただけます。
(注)紹介ムービーの視聴等にかかる通信料はご自身のご負担となります。

特色ある取り組み Distinctive Program

■おもしろ科学フェスティバル KOSEN Science Festival

主に地域の小中学生を対象に、毎年実施している「都城高専・おもしろ科学フェスティバル」は、令和6年度で12回目を数え、科学の力や不思議を体験していただき、工学・科学技術分野への興味・関心を高める地域のイベントとして定着してきました。

本イベントは、本校教職員と学生、地域の企業技術者の方々に、科学技術に興味・関心が湧く教材を開発・提供していただき、社会実装教育を推進・展開する場としても機能しています。

また、2019年からは都城市中心市街地にて「まちなか科学フェスティバル」としても開催し、多くの市民の皆様に参加いただいています。

今後も小中学生を中心とした未来ある子ども達に、ものづくりと科学のおもしろさを伝え、地域や世界で活躍できる次世代を担う人材＝未来の高専生を育成し、少しでも科学技術の底上げに寄与することを目的に実施していきます。



ポンポン船を作って動かしてみよう

“KOSEN Science Festival” held annually mainly for local elementary and junior high school students, is now in its 12th year (2024) and has become a well-established local event that encourages interest in engineering, science and technology, featuring hands-on experience of power and wonder of science.

This event also serves as a venue to promote social implementation education with our faculty members and students as well as local corporate engineers, and provide educational materials that stimulate interest in science and technology. Since 2019, the event has also been held as the “KOSEN Machinaka Science Festival” in the central area of Miyakonojo City, attracting many local participants.

We will continue to hold this event with the aim of conveying the fun of manufacturing and science to children, and of nurturing future technical college students, who will be the leaders of the next generation and work actively in the local community as well as globally, contributing to the improvement of science and technology.



プラバン工作



ミクロな世界をのぞいてみよう

特色ある取り組み

Distinctive Program

■アントレプレナーシップ教育推進グループ Entrepreneurship Education Promotion Group

本グループは令和5年度・高専スタートアップ教育環境整備事業で採択された「未来協創力を育む縁ジュニアリング教育の推進～個の学びから協創の学びへ～」に関連する種々のプロジェクトを引き継ぎ、発展的に推進するために令和6年6月に地域連携テクノセンター内に下部組織として立ち上げられました。

本校では、地域と協創して問題・課題を発見し解決・事業化できる能力（未来協創力）を併せ持った次世代イノベーション人財『縁ジュニア』を育成するために、『IDEA プログラム』を創設しており、学生が学科を横断し主体的にその目的達成に向けて取り組む拠点として IDEA ラボ（起業家工房 A・B）を整備し、以下の取り組みを行っています。

- ①学生の課外活動拠点（ラーニングコモンズ・IDEA ラボ）の整備・提供
- ②協創と共感を持った担い手教育体制の整備・提供（先輩起業家や専門家等を招聘し、デザイン思考、経営戦略・マーケティング、ビジネスプラン、知財に関する講演・演習の実施等）
- ③ビジネスコンテスト等のピッチイベントへの参加促進や起業・事業化支援
- ④地元自治体や企業、ベンチャーキャピタル等と連携した活動資金確保とビジネスチャンスの提供

At the Establishment of a Start-Up Education environment for Technical Colleges in 2023, the Project "Promotion of Enginia* Education that can discover, solve and commercialize issues through co-creation with the local community - from individual learning to learning through co-creation" was adopted. To take over the various projects implemented under the Project in 2023, the "Entrepreneurship Education Promotion Group" was established as a sub-organization of the Regional Technology Collaboration Center in June 2024. With this handover, we aim to develop the projects from the previous year further.

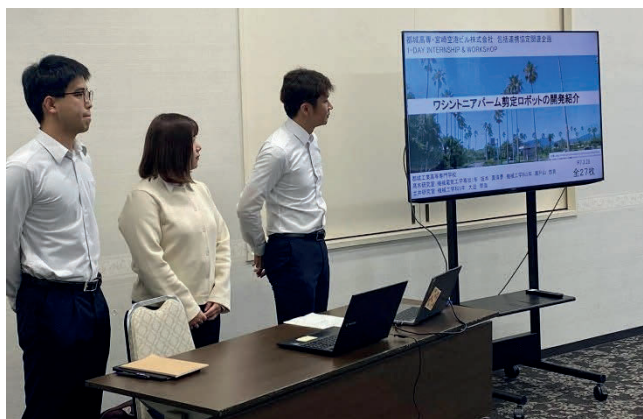
We have established "the IDEA Program" to develop the next-generation innovative human resources, or "Enginia*", who have the ability to discover, solve, and commercialize issues in collaboration with local communities. The IDEA Lab (Entrepreneurship Workshop A/B) is a center for students to work independently across the departments to achieve these goals, and the following initiatives are being undertaken.

- (i) Establish bases for students' extracurricular activities (Learning Commons and IDEA Lab)
- (ii) Provide an education system to develop human resources with the collaborative edge and empathy (inviting senior entrepreneurs and experts to give lectures and practice sessions on design thinking, management strategy/marketing, business plans, and intellectual property, etc.)
- (iii) Promote participation in business contests and other pitch events, and support entrepreneurship and commercialization
- (iv) Secure funding for activities and offer business opportunities in cooperation with local governments, companies, Venture Capital, etc.

* Enginia : the coinage of "engineer" and "en" ("relationship" in Japanese)



第2回都城高専ビジネスプランコンテストの開催（2025年3月8日）



宮崎空港ビル株式会社（2024年3月：包括連携協定締結）と連携した学生主体でのワシントンニアパーム剪定ロボットの開発

外部との連携 Social Cooperative

■ 協定等 Agreements

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| (単位互換関係) | |
| ・九州沖縄地区9国立高専 | (平成21年10月1日実施) |
| ・高等教育コンソーシアム宮崎 | (平成22年4月1日締結) |
| (大学院入学関係) | |
| ・北陸先端科学技術大学院大学 | (平成17年12月26日締結) |
| ・早稲田大学大学院情報生産システム研究科 | (平成18年6月12日当初締結、
平成28年1月8日更新締結) |
| (教育連携関係) | |
| ・九州沖縄地区9国立高専、社団法人九州経済連合会 | (平成24年9月20日締結) |
| ・株式会社F I X E R | (平成30年2月16日締結) |
| (教育研究連携関係) | |
| ・大阪大学工学部・大学院工学研究科 | (平成27年4月1日締結) |
| ・九州大学工学系部局、九州地区及び沖縄に所在する
国立高等専門学校 | (平成30年12月1日締結) |
| (社会連携関係) | |
| ・社団法人宮崎県工業会 | (平成18年6月8日締結) |
| ・宮崎県 (連携協議会) | (平成22年2月2日締結) |
| ・特定非営利活動法人みやざき技術士の会 | (平成22年3月28日締結) |
| ・日本弁理士会、九州沖縄地区9国立高専 | (平成24年12月10日締結) |
| ・日本弁理士会九州支部、九州沖縄地区9国立高専 | (平成25年2月19日締結) |
| ・宮崎県 (地方創生に係る包括連携) | (平成28年3月22日締結) |
| ・都城市 (包括連携) | (平成29年2月22日締結) |
| ・三股町 (包括連携) | (平成29年3月15日締結) |
| ・新富町および一般財団法人こゆ地域づくり推進機構 | (平成30年3月12日締結) |
| ・都城まちづくり株式会社 | (令和6年1月22日締結) |
| ・宮崎空港ビル株式会社 | (令和6年3月29日締結) |



■ 公開講座・教養講座・出前講座等 (令和6年度実績) Open Lectures (2024)

講 座 名		対象者・実施場所	開講月日
公開講座	楽しい工作教室 -10 連発ゴム銃を作ってみよう-	小中学生	7/28 午前・午後 (2回)
	夏休み工作教室	小中学生	8/18 午前・午後 (2回)
	楽しい化学実験	中学生	8/20
	クリップモーターを作ろう	小学4年生～中学生	10/19
	中3から学べる量子力学	市民一般	10/11、10/18、10/25
	熊本城の今	中学生以上の学生、市民一般	11/9
	楽しい工作教室 木製クリスマスツリーを作ってみよう	小中学生	12/8 午前・午後 (2回)
教養講座	刃物と砥石の基礎と包丁の研ぎ方教室	市民一般	7/29、7/30
	洋楽ヒットソングで学ぶ英語	市民一般	7/26、8/2
	楽しく読むアメリカ短編小説	市民一般	10/11、10/18、10/25
出前実験・授業 (理科教育支援)	出前実験：大玉シャボン玉、簡単！スライム 等	小学生及び保護者等・宮崎県内小学校等	8/6～1/13 (9回)
地域イベントへの 出展・展示 等	第12回 都城高専おもしろ科学フェスティバル	未就学児、小学生、中学生、一般	9/15
	第31回 みやざきテクノフェア	一般、小中学生・宮崎県体育館	11/8、11/9
	KOSEN まちなか科学フェスティバル	小学生、中学生 都城市 Mallmall まちなか広場	11/19、3/9
	つながるワークショップ2024	市民一般・道の駅 都城 NiQLL	8/24



楽しい化学実験



刃物と砥石の基礎と包丁の研ぎ方教室



おもしろ科学フェスティバル

国際交流 International Exchange Activities

国際交流センター International Exchange Center

国際交流センターは本校学生および教職員のグローバル化を目的とし平成 31 年 4 月に設立されました。協定校との交流を中心として海外の大学や研究機関と学術研究面および学生交流、国際共同研究等を企画実施します。また、本学の外国人留学生の生活面や学習面のサポートも行います。

International Exchange Center was established in April 2019 for the globalization of our students and staff. We plan and carry out academic exchanges, student exchanges, international joint research, etc. with overseas universities and research institutes, centering on exchanges with partner schools. We also provide support for the living and learning aspects of our International students.

協定等 Agreements

締結先	締結、更新日
モンゴル科学技術大学	平成 7 年 3 月 27 日当初締結、平成 26 年 11 月 16 日更新締結
モンゴル科学技術大学土木・建築工学科	平成 25 年 12 月 24 日当初締結、平成 30 年 9 月 13 日更新締結
キングモンクット工科大学トンプリ校（九州沖縄地区 9 国立高専）	平成 28 年 3 月 1 日締結
ダナン・科学技術大学（九州沖縄地区 9 国立高専）（学術交流）	平成 29 年 2 月 22 日締結
モンゴル国立科技大付属高専	平成 30 年 2 月 5 日締結
モンゴル工業技術大学（IET）付属高専	平成 30 年 2 月 5 日締結
新モンゴル学園高専	平成 30 年 2 月 5 日締結
泰日工業大学工学部	平成 30 年 7 月 9 日締結
ナンヤン・ポリテクニク	令和元年 7 月 1 日締結

国際交流実績 Activities and Results

（令和 6 年度実績）

プログラム名		期間	参加者・人数
学生の海外渡航	モンゴル科学技術大学及びモンゴル高専における海外研修	2024. 8. 16～ 8. 23	本校学生 1 名、 教員 2 名
		2024. 9. 3～ 9. 11	本校学生 10 名、 教員 1 名
		2025. 3. 16～ 3. 22	本校学生 2 名、教職員 3 名
	韓国における海外インターンシップ	2024. 8. 18～ 8. 24	本校学生 1 名、 教員 1 名
	泰日工業大学における学会発表	2024. 9. 5～ 9. 14	本校学生 15 名、教職員 6 名
	アメリカにおける学会発表	2024. 12. 14～12. 17	本校学生 2 名、 教員 1 名
	タイにおける海外研修	2025. 3. 5～ 3. 12	本校学生 20 名、教職員 2 名
海外からの受入れ	台湾在住学生受入（主催：NP0 法人日台交流促進会）	2024. 7. 8	学生 10 名、他関係者 2 名
	モンゴル国教育関係者受入れ（主催：教育情報研究所）	2025. 2. 26	11 名
他高専との交流	留学生合同研修	2024. 12. 14	本校学生 2 名、教職員 2 名



学会会場での記念写真（アメリカ）



海外研修の様子（モンゴル）



モンゴル国教育関係者との記念写真

寮生活

Dormitory Life

本校の学寮は、高千穂寮と称し5棟からなります。寮室は2人部屋または1人部屋です。国際寮はユニットタイプの設計となっており、2025 年9月より国際交流を目的とした入寮者を受け入れる予定です。

当直教職員の常駐に加え、カードキー、防犯カメラ、赤外線センサーなどの防犯設備により寮内の安全を保持しています。

寮生からなる寮生会は、寮長をはじめとする役員によって構成され、寮の自主的な運営に取り組んでいます。

The school dormitory called “Takachiho Ryo”, has five buildings. The rooms are either for two people or for one person. The international dormitory is built in a unit-style layout and will start accepting students for international exchange in September 2025.

In addition to academic and administrative staff on duty in the dormitory, safety is kept by using card keys, security cameras, and infrared sensors.

The Dormitory Student Council “Ryoseikai” is composed of dormitory students, led by the chief and board members, and is actively engaged in managing dormitory by themselves.

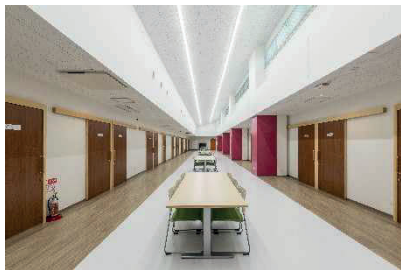
学寮・高千穂寮
Dormitory Takachiho-Ryo



寮室（二人部屋）
Dormitory Room (double occupancy)



寮室（個室）
Dormitory Room (single)



ラーニングスペース
Learning Space



寮管理棟
Dormitory Administration Building



寮祭
Dormitory Festival



寮食堂
Dormitory Cafeteria

学寮収容現員 Number of Dormitory Students

(令和7年4月1日現在)
(As of April 1, 2025)

男 子 寮 Dormitory for Male Boarders							女 子 寮 Dormitory for Female Boarders							現 員 数 総 Total
低 学 年 Junior Stu.			高 学 年 Senior Stu.		専攻科 AD	計 Total	低 学 年 Junior Stu.			高 学 年 Senior Stu.		専攻科 AD	計 Total	
1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th			1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th			
41	47	44	36	31	2	201	25	17	19	12	5	0	78	279



入学式



クラスマッチ



寮祭



オープンキャンパス

前 期	
- 入学式 Entrance Ceremony - 始業式 Opening Ceremony - 学生会役員研修 Training of Student Union Executive Committee - 定期健康診断 Periodical Physical Checkup 1年生研修 Orientation for Freshmen 4年生校内研修 Intra-Mural Training of the 4th Graders - クラスマッチ Inter-Class Tournament	4月
- 学校説明会 School briefing - 学級懇談会（2～4年） Parent-Teacher Conference(2 to 4 grade) - 寮祭 Dormitory Festival - 宮崎県高校総体 Senior High School Athletic Meet in Miyazaki	5月
- 前期中間試験 Mid-Term Examination of 1st Semester - 九州沖縄地区高専体育大会 Inter-Collegiate Athletic Meet in the Kyushu Okinawa Area	6月
- 九州沖縄地区高専弓道大会 Inter-Collegiate Japanese Archery Meet in the Kyushu Okinawa Area - 宮崎県吹奏楽コンクール Brass Band Contest in Miyazaki - 前期末試験 Term Examination of 1st Semester	7月
- オープンキャンパス Campus tour - 全国高専体育大会 All Japan Intercollegiate Athletic Meet 4学年編入学試験 Examination for Admission into 4th Grade 1、2年生保護者個別面談 Parent-Teacher Conference(1, 2 grade)	8月
- 都城高専おもしろ科学フェスティバル Science Festival at Miyakonojo Kosen - 九州沖縄地区高専英語プレゼンテーションコンテスト English Presentation Contests for Students in Colleges of Technology in the Kyushu Okinawa Area - ロボットコンテスト九州沖縄地区大会 Inter-Collegiate Robotic Contest in the Kyushu Okinawa Area	9月

後 期	
10月	・ 全国高専プログラミングコンテスト All Japan Intercollegiate Programming Contest ・ 体育競技会 College Field Day
11月	・ 文化祭 College Festival ・ 全国高専デザインコンペティション All Japan Intercollegiate Design Competition ・ ロボットコンテスト全国大会 All Japan Intercollegiate Robotic Contest ・ 九州沖縄地区高専ラグビー大会 Inter-College Rugby Football Meet in Kyushu Okinawa Area ・ 後期中間試験 Mid-Term Examination of 2nd Semester
12月	・ クラスマッチ Inter-Class Tournament
1月	・ 全国高専ラグビー大会 All Japan College of Technology Rugby Football Meet ・ 入学者推薦選抜検査 Entrance Examination ・ 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト All Japan College of Technology English Presentation Contests
2月	・ 学年末試験 Final Examination ・ 卒業研究発表会 Presentation of the Results of Graduation Study ・ 入学者学力選抜検査 Entrance Examination ・ 終業式 Closing Ceremony
3月	・ 卒業式 Graduation Ceremony



ロボットコンテスト



体育競技会



文化祭



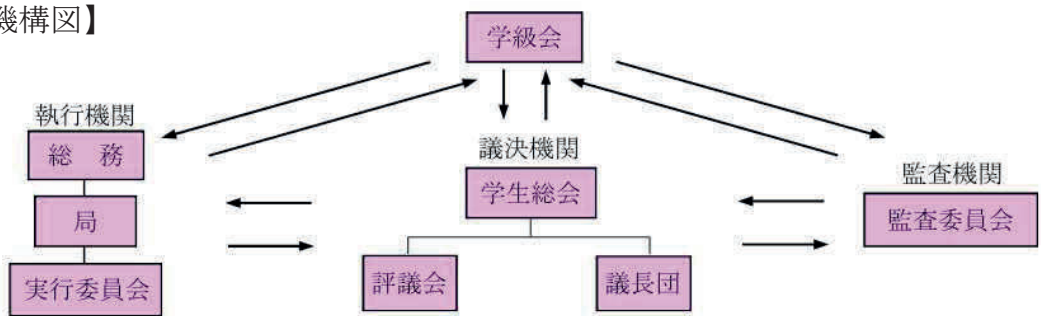
卒業式

学生会組織図

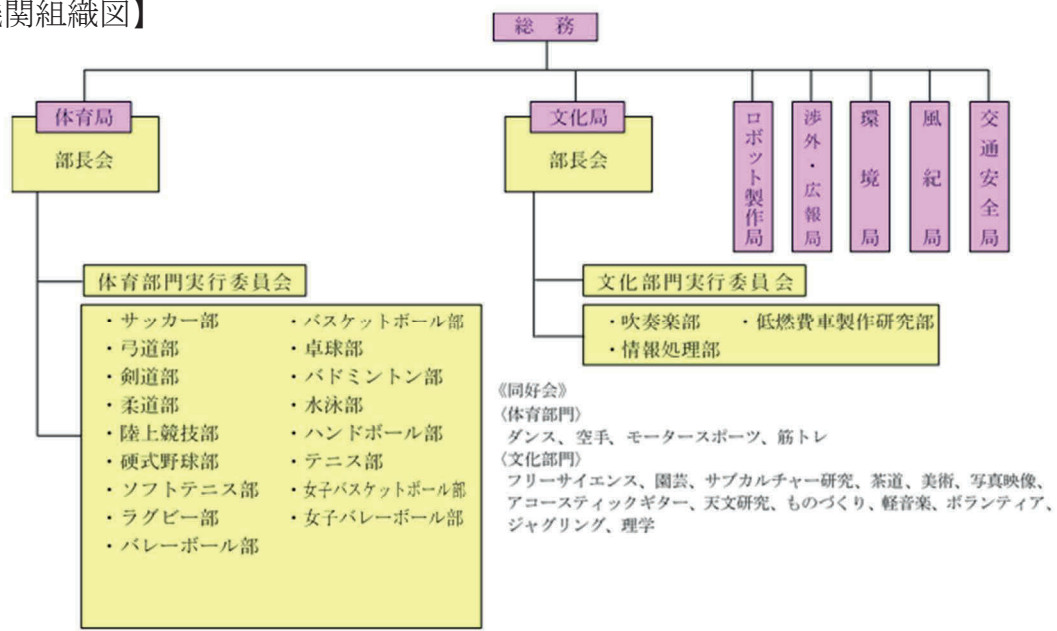
Student Council Chart

学生会は、本校の教育指導方針に基づき、学生の自発的、健全なる活動を図り、人間形成を助長して高等専門教育の効果達成に資することを目的としています。

【学生会機構図】



【執行機関組織図】



課外活動実績 (令和6年度) The Extracurricular Activities Results(2024)

○ 弓道部	第 11 回全国高等専門学校弓道大会	男子団体	準優勝	○ 水泳部	第 61 回地区高等専門学校体育大会	団体	準優勝
	第 10 回地区高等専門学校弓道大会	男子団体	優勝		男子 800m 自由形		第 1 位
○ 陸上競技部	第 61 回地区高等専門学校体育大会	男子 100m	第 1 位		男子 400m 自由形		第 1 位
	男子 4×400m リレー	第 1 位			男子 100m 背泳ぎ		第 1 位
	女子 4×100m リレー	第 1 位			男子 100m 平泳ぎ		第 1 位
○ 柔道部	第 61 回地区高等専門学校体育大会	団体	優勝	○ ハンドボール部	第 61 回地区高等専門学校体育大会		準優勝
	男子個人戦 73kg 級	優勝		○ 吹奏楽部	第 69 回宮崎県吹奏楽コンクール	大学の部	金賞
		優勝		○ ロボコン	アイデア対決・全国高等専門学校		
					ロボットコンテスト 2024 九州沖縄地区大会		

デザイン賞・特別賞

学生概況 Situation of Students

在籍者数 Number of Students

(令和7年4月1日現在)
(As of April. 1, 2025)

〔学 科〕
Department

学科 Department	定員 Fixed Number of Students	学年 Grade	1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	計 Total
機械工学科 Mechanical Engineering		40	43(8)	42(8)	38(1)	40(3)	35(2)	198(22)
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering		40	42(5)	38(7)	44(9)	41(7)	31(8)	196(36)
物質工学科 Chemical Science and Engineering		40	42(25)	41(23)	44(23)	42(22) 〈外留 1〉	30(13) 〈外留 1〉	199(106) 〈外留 2〉
建築学科 Architecture		40	44(23)	40(13)	42(20) 〈外留 1〉	38(16)	37(17)	201(89) 〈外留 1〉
計 Total		160	171(61)	161(51)	168(53) 〈外留 1〉	161(48) 〈外留 1〉	133(40) 〈外留 1〉	794(253) 〈外留 3〉

(注) 1 () 内は女子を示し内数とする。 () Female
2 〈外留〉内は外国人留学生を示し内数とする。 〈 〉 International Students

〔専攻科〕
Advanced Course

専攻 Advanced Course	定員 Fixed Number of Students	学年 Grade	1 年 1st	2 年 2nd	計 Total
機械電気工学専攻 Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering		8	11(1)	13(1)	24(2)
物質工学専攻 Advanced Course of Chemical Science and Engineering		4	6(3)	8(4)	14(7)
建築学専攻 Advanced Course of Architecture		4	8(5)	6(5)	14(10)
計 Total		16	25(9)	27(10)	52(19)

(令和7年3月1日現在)
(As of March. 1, 2025)

奨学生数 Number of Scholarship Students

区分 Classification	学年 Grade	1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	専 1 Ad.1st	専 2 Ad.2nd	計 Total
日本学生支援機構 Japan Student Services Organization		4	3	5	24	64	9	5	114
その他の奨学生 Others		3	4	3	9	5	1	3	28
計 Total		7	7	8	33	69	10	8	142
在校生に対する比率 (%) Ratio of scholarship students(in each Grade)		4	4	5	23	45	40	30	17

県市郡別入学者数 Hometown Classification of Freshmen

県市郡名 Area	入学年度 Year	令和3年度 '21	令和4年度 '22	令和5年度 '23	令和6年度 '24	令和7年度 '25
宮崎県 Miyazaki Prefecture	都城 市 Miyakonojo City	67(22)	64(17)	64(22)	76(25)	74(27)
	宮崎 市 Miyazaki City	34(4)	25(12)	27(5)	21(7)	17(6)
	延岡 市 Nobeoka City	7(1)	5(1)	6(2)	4(1)	7(3)
	日南 市 Nichinan City	5(1)	4(2)	5(3)	3(2)	3(1)
	小林 市 Kobayashi City	8(2)	10(3)	6(0)	8(3)	7(3)
	日向 市 Hyuga City	0	4(2)	2(1)	4(0)	7(2)
	串間 市 Kushima City	0	2(0)	3(1)	4(0)	1(0)
	西都 市 Saito City	1(1)	0	5(1)	3(0)	0
	えびの市 Ebino City	2(2)	6(2)	3(3)	1(1)	4(1)
	北諸県郡 Kitamorokata District	9(4)	11(4)	10(2)	12(3)	10(4)
	西諸県郡 Nishimorokata District	1(0)	0	2(0)	1(1)	2(0)
	東諸県郡 Higashimorokata District	2(0)	0	1(0)	2(0)	1(0)
	児湯 郡 Koyu District	5(2)	3(2)	3(0)	2(0)	6(4)
	東臼杵郡 Higashi-Usuki District	3(0)	0	0	2(0)	2(0)
	西臼杵郡 Nishi-Usuki District	2(0)	1(1)	0	1(0)	0
	小 計 Subtotal	146(39)	135(46)	137(40)	144(43)	141(51)
鹿児島県 Kagoshima Prefecture		15(4)	25(5)	23(7)	17(8)	25(10)
熊本県 Kumamoto Prefecture		0	1(0)	0	1(1)	0
福岡県 Fukuoka Prefecture		1(0)	0	0	1(0)	0
長崎県 Nagasaki Prefecture		0	1(1)	2(0)	0	0
埼玉県 Saitama Prefecture		0	1(0)	0	0	0
愛媛県 Ehime Prefecture		0	0	1(0)	0	0
神奈川県 Kanagawa Prefecture		0	0	0	1(0)	0
小 計 Subtotal		16(4)	28(6)	26(7)	20(9)	25(10)
合 計 Total		162(43)	163(52)	163(47)	164(52)	166(61)

() 内は女子を示し内数とする () Female

進路状況

Classification of Graduates

〈学科〉 Departments

年度(回)別卒業生数 The Number of Graduates Each Year

(令和7年4月1日現在)
(As of Apr. 1, 2025)

学科 Department	年度<回> Year	02 '20 <53>	03 '21 <54>	04 '22 <55>	05 '23 <56>	06 '24 <57>	累計 Total <1~57>
機械工学科 Mechanical Engineering		42 (2)	39 (1)	36 (0)	38 (4)	34 (5)	2,009 (34)
電気工学科 Electrical Engineering		—	—	—	—	—	1,534 (56)
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering		33 (3)	33 (2)	39 (6)	37 (4)	33 (8)	498 (56)
工業化学科 Industrial Chemistry		—	—	—	—	—	1,026 (218)
物質工学科 Chemical Science and Engineering		36 (20)	35 (14)	42 (23)	44 (25)	42 (20)	1,031 (523)
建築学科 Architecture		37 (11)	33 (14)	32 (16)	36 (17)	42 (20)	1,851 (505)
計 Total		148 (36)	140 (31)	149 (45)	155 (50)	151 (53)	7,949 (1,392)

() 内は女子を示し内数とする。() Female

卒業者の進路 Future Course of Graduates

(令和6年度卒業生)
(Graduates in 2024)

学科 Department	区分 Classification	卒業生数 The Number of Graduates			就職者数 Number of Graduates Who Have Positions in Companies			進学者数 The Number of Entrants Universities		
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
機械工学科 Mechanical Engineering		29	5	34	16	4	20	13	1	14
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering		25	8	33	16	8	24	8	0	8
物質工学科 Chemical Science and Engineering		22	20	42	15	14	29	7	6	13
建築学科 Architecture		22	20	42	18	12	30	4	6	10
計 Total		98	53	151	65	38	103	32	13	45

求人状況と就職決定状況 Job Offer and Employment Situation of Graduates

(令和6年度卒業生)
(Graduates in 2024)

学科 Department	区分 Classification	就職希望者数(A) Applicants (A)			求人数(B) Job Offers(B)	就職決定者数(C) Number of New Graduates Who Have Positions in Companies(C)			求人倍率 (B/A) Rate of Positions	就職決定率(C/A) Rate of Employment(C/A)		
		男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total
機械工学科 Mechanical Engineering		16	4	20	725	16	4	20	36.3	100%	100%	100%
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering		16	8	24	754	16	8	24	31.4	100%	100%	100%
物質工学科 Chemical Science and Engineering		15	14	29	343	15	14	29	11.8	100%	100%	100%
建築学科 Architecture		18	12	30	248	18	12	30	8.3	100%	100%	100%
計 Total		65	38	103	2070	65	38	103	20.1	100%	100%	100%

産業分類別就職先 Job Classification

(令和6年度卒業者)
(Graduates in 2024)

区分 Classification	就職先 Place of Employment
建設業 Construction	㈱アイ工務店、㈱フジタ、㈱横河システム建築、㈱下森建築、戸田建設㈱、五洋建設㈱、大和ハウス工業㈱、東レ建設㈱ 東急建設㈱、日本国土開発㈱、㈱イリア、㈱スペース、㈱ユニティー、ダイキンエアテクノ㈱、メタウォーター㈱ ㈱TAK イーヴェック、㈱九電工、日鉄環境㈱、日本通信エンジニアリングサービス㈱、日本電設工業㈱
製造業 Manufacturing 食料品製造業 Manufacture of food	DM 三井製糖㈱、ヤマエ食品工業㈱、㈱ロッテ、㈱林兼産業
飲料・たばこ・飼料製造業 Manufacture of beverages, tobacco and feed	アサヒビール㈱、サントリーホールディングス㈱、日本たばこ産業㈱
印刷・同関連業 Printing and allied industries	独立行政法人国立印刷局
化学工業 Manufacture of chemical and allied products	(一社)日本血液製剤機構、旭化成㈱、花王㈱、三菱ケミカル㈱、太陽ファルマテック㈱ 第一三共プロファーマ・ケミカルファーマ㈱、沢井製薬㈱、帝人ファーマ㈱
石油製品・石炭製品製造業 Manufacture of petroleum and coal products	ENEOS㈱、富士石油㈱
プラスチック製品製造業 Manufacture of plastics products	㈱ユー・エム・アイ
非鉄金属製造業 Manufacture of non-ferrous metals and products	田中貴金属工業㈱
はん用機械器具製造業 Manufacture of general-purpose machinery	三菱重工業㈱
生産用機械器具製造業 Manufacture of production machinery	ラピスセミコンダクタ㈱、㈱SCREEN グラフィックソリューションズ 久御山事業所、東レエンジニアリング㈱
業務用機械器具製造業 Manufacture of business oriented machinery	ニプロ㈱、富士フイルムビジネスソリューション㈱
電子部品・デバイス・電子回路製造業 Electronic parts, devices and electronic circuits	パナソニック インダストリー㈱、宮崎エプソン㈱
電気機械器具製造業 Manufacture of electrical machinery, equipment and supplies	富士電機㈱
情報通信機械器具製造業 Manufacture of information and communication electronics equipment	京セラ㈱国分工場
輸送用機械器具製造業 Manufacture of transportation equipment	ミネベアミツミアクセスソリューションズ㈱、本田技研工業㈱
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat supply and Water	NTT アンロードエナジー㈱、Daigas ガスアンドパワーソリューション㈱、東京瓦斯㈱
情報通信業 Information and Communications	中部国際空港テクノカルコネクト㈱、AJS㈱、アイ・システム㈱、ウナルステクノロジー㈱、タイムカプセル㈱ エクシオ・デジタルソリューションズ㈱、トーテックアメニティ㈱、㈱NTT データ・フィナンシャルテクノロジー ㈱データアプリケーション、㈱デンサン、㈱ファインディックス、京セラコミュニケーションシステム㈱ 日本オーチス・エレベーター㈱
運輸業、郵便業 Transport and Postal Activities	西日本高速道路エンジニアリング九州㈱
卸売業、小売業 Wholesale and Retail	ダイキン HVAC ソリューション九州㈱、㈱日立ハイテクフィールドディング、東京エレクトロン㈱
不動産業、物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	㈱ザイマックス九州、三菱地所コミュニティ㈱
学術研究、専門・技術サービス業 Scientific Research, Professional and Technical Services	SUBARU テクノ㈱、㈱タマディック
サービス業（他に分類されないもの） SERVICES, N.E.C.	㈱イー・アール・シー高城、ANA ベースメンテナンステクニクス㈱、㈱JAL エンジニアリング、㈱日立ビルシステム 東京エレクトロン FE㈱、トータルテクノカルソリューションズ㈱、㈱テクノプロ テクノプロ・デザイン社 ㈱マクスエンジニアリング、オリックス・ファシリティーズ㈱、㈱ザイマックス、㈱ザイマックス関西、㈱シミズオクト
公務（その他に分類されるものを除く） Government, Except Elsewhere Classified	鹿児島県庁、都城市役所

産業分類別就職状況 Job Classification of New Graduates

(令和6年度卒業者)
(Graduates in 2024)

区分 Classification 学科 Department	D 建設業 Construction	E. 製造業 Manufacturing														F 電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat supply and Water	G 情報通信業 Information and Communications	H 運輸業、郵便業 Transport and Postal Activities	I 卸売業、小売業 Wholesale and Retail	K 不動産業、物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	L 学術研究、専門・技術サービス業 Scientific Research, Professional and Technical Services	R サービス業（他に分類されないもの） SERVICES, N.E.C.	S 公務（その他に分類されるものを除く） Government, Except Elsewhere Classified	合計 Total
		食料品製造業 Manufacture of food	飲料・たばこ・飼料製造業 Manufacture of beverages, tobacco and feed	印刷・同関連業 Printing and allied industries	化学工業 Manufacture of chemical and allied products	石油製品・石炭製品製造業 Manufacture of petroleum and coal products	プラスチック製品製造業 Manufacture of plastics products	非鉄金属製造業 Manufacture of non-ferrous metals and products	はん用機械器具製造業 Manufacture of general-purpose machinery	生産用機械器具製造業 Manufacture of production machinery	業務用機械器具製造業 Manufacture of business oriented machinery	電子部品・デバイス・電子回路製造業 Electronic parts, devices and electronic circuits	電気機械器具製造業 Manufacture of electrical machinery, equipment and supplies	情報通信機械器具製造業 Manufacture of information and communication electronics equipment	輸送用機械器具製造業 Manufacture of transportation equipment	電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat supply and Water	情報通信業 Information and Communications	運輸業、郵便業 Transport and Postal Activities	卸売業、小売業 Wholesale and Retail	不動産業、物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	学術研究、専門・技術サービス業 Scientific Research, Professional and Technical Services	サービス業（他に分類されないもの） SERVICES, N.E.C.	公務（その他に分類されるものを除く） Government, Except Elsewhere Classified	
機械工学科 Mechanical Engineering	2	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	0	1	1	0	2	2	3	0	20
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	14	0	1	0	0	3	0	24
物質工学科 Chemical Science and Engineering	1	3	3	2	8	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	29
建築学科 Architecture	20	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	4	2	30
計 Total	24	5	3	2	9	2	2	2	1	4	2	2	1	1	2	3	15	1	3	3	2	12	2	103

上記表に記載のない区分については該当者がいない。Not applicable classifications are unwritten in the above.

(令和6年度卒業者)
(Graduates in 2024)

■ 地域別就職状況 Areas of Employment

学科 Department	区分 Classification	就職者数 Number of Employed Graduates			宮崎県内 Miyazaki Prefecture			京浜地区 Tokyo-Yokohama Area			京阪神地区 Kyoto-Osaka-Kobe Area			その他の地区 Other Areas		
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
機械工学科 Mechanical Engineering		16	4	20	0	0	0	9	2	11	3	0	3	4	2	6
電気情報工学科 Electrical and Computer Engineering		16	8	24	4	0	4	9	6	15	0	1	1	3	1	4
物質工学科 Chemical Science and Engineering		15	14	29	2	2	4	11	8	19	1	3	4	1	1	2
建築学科 Architecture		18	12	30	1	1	2	10	5	15	3	3	6	4	3	7
計 Total		65	38	103	7	3	10	39	21	60	7	7	14	12	7	19

■ 高専専攻科入学及び大学編入学等状況 Number of Entrants into Universities

入学年度 Year		03 '21	04 '22	05 '23	06 '24	07 '25
大学名 Univ.						
都城工業高等専門学校専攻科 National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College		25	22	24	23	25
北海道大学 Hokkaido University					1	
群馬大学 Gunma University			1			1
東京工業大学 Tokyo Institute of Technology			1		1	
東京通信大学 Tokyo Online University			1			
東京都立大学 Tokyo Metropolitan University					1	1
東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology		1	1		1	
武蔵野美術大学 Musashino Art University				1		
産業能率大学 Sanno University				1		
千葉大学 Chiba University				1		1
関東学院大学 Kanto Gakuin University			1			
長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology			5	2	5	3
豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology		3	8	3	2	4
名古屋大学 Nagoya University			1			
京都芸術大学 Kyoto University of the Arts			1			
和歌山大学 Wakayama University			1			
九州大学 Kyushu University		2		1	1	
九州工業大学 Kyushu Institute of Technology			1		1	1
熊本大学 Kumamoto University		3	2	2	5	4
大分大学 Oita University			1			
宮崎大学 University of Miyazaki		1	3	1	2	3
鹿児島大学 Kagoshima University		1	1	1	4	1
鹿屋体育大学 National Institute of Fitness and Sports in Kanoya					1	
電気通信大学 The University of Electro-Communications					1	
南九州大学 Minami Kyushu University						1
大原簿記公務員専門学校 O-hara Business College				1		
専門学校デジタルアーツ東京 Digital Arts Tokyo				1		
資生堂美容技術専門学校 Shiseido Beauty Academy				1		
合計 Total		36	51	40	49	45

〈専攻科〉 Advanced Courses

(令和 7 年 4 月 1 日現在)
(As of Apr. 1, 2025)

年度(回)別修了生数 The Number of Graduates Each Year

専攻 Advanced Course	年度<回> Year	03 '21 <19>	04 '22 <20>	05 '23 <21>	06 '24 <22>	累計 Total <1~22>
機械電気工学専攻 Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering		11 (1)	12 (1)	8 (0)	13 (0)	216 (9)
物質工学専攻 Advanced Course of Chemical Science and Engineering		8 (3)	8 (3)	7 (3)	8 (3)	142 (59)
建築学専攻 Advanced Course of Architecture		5 (1)	6 (1)	6 (3)	4 (3)	111 (35)
計 Total		24 (5)	26 (5)	21 (6)	25 (6)	469 (103)

() 内は女子を示し内数とする。() Female

修了者の進路 Future Course of Graduates

(令和 6 年度修了者)
(Graduates in 2024)

専攻 Advanced Course	区分 Classification	修了者数 The Number of Graduates			就職者数 Number of Graduates Who Have Positions in Companies			進学者数 The Number of Entrants Universities		
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
機械電気工学専攻 Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering		13	0	13	10	0	10	3	0	3
物質工学専攻 Advanced Course of Chemical Science and Engineering		5	3	8	0	0	0	5	3	8
建築学専攻 Advanced Course of Architecture		1	3	4	1	2	3	0	0	0
計 Total		19	6	25	11	2	13	8	3	11

就職決定状況 Employment Situation of Graduates

(令和 6 年度修了者)
(Graduates in 2024)

専攻 Advanced Course	区分 Classification	就職希望者数(A) Applicants (A)			就職決定者数(C) Number of New Graduates Who Have Positions in Companies(C)			就職決定率(C/A) Rate of Employment(C/A)		
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
機械電気工学専攻 Advanced Course of Mechanical and Electrical Engineering		10	0	10	10	0	10	100%	—	100%
物質工学専攻 Advanced Course of Chemical Science and Engineering		0	0	0	0	0	0	—	—	—
建築学専攻 Advanced Course of Architecture		1	3	4	1	2	3	100%	66.7%	75%
計 Total		11	3	14	11	2	13	100%	66.7%	92.9%

大学院への入学状況 Number of Entrants into Graduate Schools

大学院名 Univ. (Graduate School)	入学年度 Year	03 '21	04 '22	05 '23	06 '24	07 '25
東北大学大学院 Tohoku University		2	1		1	1
北陸先端科学技術大学院大学 Japan Advanced Institute of Science and Technology		2		3	1	
筑波大学大学院 University of Tsukuba				1		1
東京工業大学大学院 Tokyo Institute of Technology		1	2	1	1	
総合研究大学院大学 The Graduate University for Advanced Studies		1				
静岡大学大学院 Shizuoka University			1			
豊橋技術科学大学大学院 Toyohashi University of Technology			1			1
奈良先端科学技術大学院大学 Nara Institute of Science and Technology		1				1
大阪大学大学院 Osaka University			1	1	1	
広島大学大学院 Hiroshima University					1	
九州大学大学院 Kyushu University		1	2	3	3	7
九州工業大学大学院 Kyushu Institute of Technology			1			
熊本大学大学院 Kumamoto University		1	2	1		
合計 Total		9	11	10	8	11

就職先 List of Employment

令和 6 年度修了者の就職先 (Graduates in 2024)

(株)LIXIL、(株)サザンクロスシステムズ、NTTコムエンジニアリング(株)、ファナック(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、
日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)、(株)西島製作所、メタウォーター(株)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、
関西電力(株)、極東興和(株)、(株)大林組、三菱地所コミュニティ(株)

令和 3 年度～令和 5 年度修了者の就職先 (Graduates in 2021, 2022, 2023)

(R03) ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、山本光学(株)、出光興産(株)、SCSK ニアショアシステムズ(株)、(株)アイ・エス・ビー、
(株)九州大真空、久光製薬(株)、日東電工(株)、(株)七呂建設、清水建設(株)、(株)大林組、大和ハウス工業(株)
(R04) テルモ(株)、旭化成(株)、(株)LIXIL、(株)京三製作所、久光製薬(株)、宮崎エプソン(株)、極東開発工業(株)、戸田建設(株)、
三菱地所コミュニティ(株)、千代田化工建設(株)、大和ハウスリフォーム(株)、東京エレクトロン(株)、日本国土開発(株)、都城市役所
(R05) (株)京都製作所、パナソニック株式会社 くらシアプライアンス社、西日本電信電話(株)、(株)NTTデータ、DIC(株)、沢井製薬(株)、
戸田建設(株)、大成建設(株)、東京ガスネットワーク(株)、(株)TAK-QS、(株)オリエンタルコンサルタンツ、都城市役所

図書館 Library

1階にはICT みやまルーム・CALL 教室・メディアホールギャラリー・閉架書庫などが、2階には開架書庫・閲覧室・事務室・ICT 自習室・グループ学習室などがあります。開架書庫には約 37,000 冊の図書が、第2閲覧室にはグループ学習室・ミーティングルーム・DVD機器などがあり、学生は自由に自学自習室として利用できます。

図書館を学習、研究その他の文化活動に有効に利用することによって、充実した学生生活が送れるよう配慮されています。

また、一般の方にも、図書館を開放しています。

The first floor includes the ICT Miyama Room, a CALL (Computer Assisted Language Learning) room, the Media Hall Gallery and closed shelves. The second floor includes a reading room with open shelves, an office room, a group activity room, an ICT study room and DVD equipment. Approximately 37,000 books are on the shelves for a great benefit. We offer equipment that offer help opportunity to have fruitful school life to students. The library is available for people in the community as well as the students



図書館 Library

開館時間 Library Hours

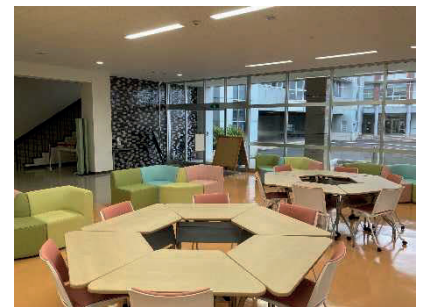
月～金 9:00～19:00 Monday～Friday 9:00～19:00
土 10:00～16:00 Saturday 10:00～16:00



開架書庫 Open Shelves



グループ学習室 Group Study Room



メディアホールギャラリー Media Hall

蔵書数 State of Book Stock

図書の冊数 Number of Books

(令和7年4月1日現在)

(As of Apr. 1, 2025)

区分 Classification	総記 General Works 0	哲学 Philosophy 1	歴史 History 2	社会科学 Social Science 3	自然科学 Natural Science 4	工学 Engineering 5	産業 Industry 6	芸術 Art 7	語学 Language 8	文学 Literature 9	合計 Total
和漢書 Japanese Books	2,838	3,832	4,277	4,594	12,915	18,783	626	2,383	2,470	11,592	64,310
洋書 Foreign Books	429	545	70	152	1,306	588	8	87	540	753	4,478
合計 Total	3,267	4,377	4,347	4,746	14,221	19,371	634	2,470	3,010	12,345	68,788

雑誌の種類数 Number of Magazines

(令和7年4月1日現在)

(As of Apr. 1, 2025)

区分 Classification	総記 General Works 0	哲学 Philosophy 1	歴史 History 2	社会科学 Social Science 3	自然科学 Natural Science 4	工学 Engineering 5	産業 Industry 6	芸術 Art 7	語学 Language 8	文学 Literature 9	合計 Total
和雑誌 Japanese Books	341	6	4	52	49	206	4	18	35	7	722
洋雑誌 Foreign Books	8	1	2	3	48	27	0	0	2	1	92
合計 Total	349	7	6	55	97	233	4	18	37	8	814

情報教育センター

Information Technology Education Center

情報教育センターは、本校の情報教育の基幹となる施設で、ソフトウェアを利用する講義・演習・設計等で利用されています。情報教育センターは3つの演習室と1つの多目的室を有しており、第1・2演習室にはシンククライアント型のPCがそれぞれ50台設置されています。第3演習室は持ち込みPCの専用演習室となっています。また、多目的室は少人数の講義・ゼミ等で使用することができます。なお、全ての演習室にはプロジェクタとWi-Fiが設置されており、第3演習室と多目的室には電子黒板が導入されています。また、廊下には自由に使用できるグループ学習用の机と椅子が設置されています。

The information technology education center is the main facility of information technology education in our college. This center is used in lectures, seminars, and design using the software. This center has three computer rooms and one multipurpose room. Both computer room 1 and 2 have 50 Personal Computers of thin client type, and computer room 3 is for BYOD (Bring Your Own Device). School officials can use the multipurpose room in small-group teaching. Projectors and Wi-fi are available in all computer rooms. The computer room 3 and the multipurpose room are introducing the electronic blackboard. There is a free space in the hallway that can be used for studying.



第1演習室
Computer Room1



第2演習室
Computer Room2



第3演習室
Computer Room3



多目的室
Multipurpose Room

情報システム管理室

Information Systems Division

組織概要

情報システム管理室は、平成28年4月に設置されました。本校の教育・研究活動に不可欠であるネットワーク環境を正常な状態に維持し、本校で学ぶ学生が立派な“実践的技術者”になるための質の高い教育を受けられるように支援します。また情報セキュリティ対策に関する活動を通じて本校の情報セキュリティレベルを維持・向上し、IT技術を活用するために不可欠な情報セキュリティに関する素養を学生が身につけることを支援します。

業務内容

- (1) 対外接続の維持
- (2) 校内ネットワークの運用
- (3) 情報セキュリティ対策

Information Systems Division was established in April 2016. The objectives of this division are to:

1. Provide reliable and secure information systems and services that support education and research activities.
2. Take countermeasures against security risks.
3. Improve the reliability of information systems.

Through making a sincere effort to address each of these issues, we support students to receive the education designed to become practical engineers. We also aid students in acquiring essential skills related to information security through the utilization and application of IT technologies.

1. 組織概要

技術教育支援センターは、教育研究支援を行う技術職員の組織として平成 21 年 4 月に設置されました。本センターは、実験実習や研究及び課外活動等への技術的支援を行い、それらを通して学生をよりレベルの高い技術者として育成することや、広く技術的なサービスを提供し地域社会の発展に貢献することを目的としています。

2. 業務内容

- (1) 学生の行う実習、実験、研究等への技術支援
- (2) 教育研究用装置等の開発及び設計製作
- (3) 各種実験実習装置や工作機械等の保守管理
- (4) 毒物、劇物や危険物の処置管理
- (5) ロボット製作局や低燃費車製作研究部・デザコン等の課外活動への技術指導
- (6) 高専祭や文化祭での技術指導
- (7) 公開講座や工作教室等ものづくり支援
- (8) その他、学内外での技術相談や支援及び技術指導
- (9) 学内ネットワークおよび情報セキュリティ等の技術支援
- (10) 情報(通信)教育の支援

1. The Purpose of This Center

This center was established in April 2009 as an organization of the technical staff to assist education and research in our college. The center aims to train students to be advanced engineers by providing technical support for experiments, practice, research and extracurricular activities, and to contribute to the development of the local community by offering technical services widely.

2. Details of Project

- (1) Providing technical support for practice, experiments and research conducted by the students
- (2) Designing and developing devices for education and research
- (3) Maintaining devices and machine tools for practice and experiments
- (4) Treating poisonous and dangerous substances with safety
- (5) Providing technical guidance for extracurricular activities such as the Robot Contest club, the eco mileage club and the Design Competition
- (6) Technical guidance for the school festival
- (7) Manufacturing support for open lectures, craft-classes-and others
- (8) All the other technical support and guidance required on and off campus
- (9) Technical support for campus networks including information security
- (10) Support for education of information and communication technology

公開講座
(工作教室)



出前実験



ものづくり支援



実験・実習
機械加工



地域連携テクノセンター

Regional Technology Collaboration Center

1. 設立趣旨

地域連携テクノセンターは、技術開発における民間企業等との連携協力を、より一層推進することを目的として設置された学内共同研究組織です。本校における産官学連携の拠点組織として、学外諸機関との共同研究や技術相談等の連絡窓口業務を執り行っています。

2. 業務内容

当テクノセンターの業務として、次のような事業を行うこととしています。

- (1) 地元企業との共同研究の推進
- (2) 地元企業等の技術相談に関する窓口業務
- (3) 科学技術や教養文化に関する公開講座等の開催

3. 組織

当テクノセンターは、次の4部門により構成されています。

- (1) 技術開発部門
- (2) 技術教育部門
- (3) 計測・分析部門
- (4) 知的財産部門

当テクノセンターの運営には、センター長1名、副センター長1名、部門長各1名からなる地域連携テクノセンター運営委員会が当たっています。



地域連携テクノセンター

1. The Purpose of Regional Technology Collaboration Center

Regional Technology Collaboration Center was established as a college cooperative organization for promoting collaborative research with regional industries in the development of new technology.

Regional Technology Collaboration Center, which was founded as the driving base of industry college cooperation, aims to assist collaborative research with regional industries in solving technical problems.

2. Details of Project

- (1) Promotion of collaborative research with the regional industries
- (2) Technology consultation on the regional industries
- (3) Holding meetings and seminars on science, technology, and culture

3. Organization

Regional Technology Collaboration Center consists of four technical sections.

- (1) Technology Development Section
- (2) Technology Education Section
- (3) Measurement and Analysis Section
- (4) Intellectual Property Section

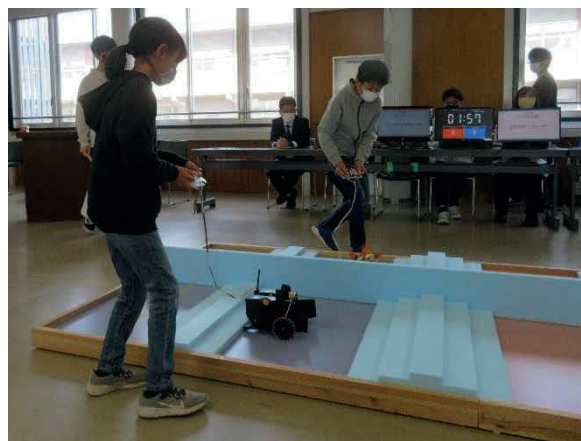
Several specialists are set and all active in these sections.



地域交流・研究発表会



みやざきテクノフェアへ出展



公開講座

学生相談支援室 Student Counseling Room

学生相談支援室は、平成 12 年 4 月に設置されました。室長 1 名、内部相談員 1 名、看護師 2 名、外部カウンセラー（非常勤）4 名で運営されています。本支援室では、学生の声に耳を傾け、悩みを共有し、学生が有意義な学校生活を送るためのサポートを提供することを使命としています。

第 1 相談室では、人間関係、性格、健康など、おもに学生生活に関する相談、第 2 相談室では、進路、勉学、就職活動のための面接指導など、おもに教務に関する相談についての支援を行っています。

相談日について

内部相談員（室長、内部相談員、看護師）は、随時、学生及び保護者からの相談を受け付けています。カウンセラー及び外部相談員は、週 1 回の相談日を設けています。相談日は、毎月、各教室に掲示しています。授業中にカウンセリングを受ける場合は、授業を出席扱いにしています。

Student Counseling Room was established in April 2000. The staff consists of two full-time teachers, two nurses and four part-time counselors. To realize our motto “For Your Fruitful Campus Life”, we are willing to listen to students’ voices, share their concerns, and offer appropriate advice. We do our best to help students have harmonious relationships on campus.

Counseling Room 1 is mainly used to counsel students with personal problems, while Room 2 is used for those with educational issues.

Full-time members are on hand every day to meet any student or parent with issues. Part-time members are available one day a week according to the monthly schedule. When a student needs to take counseling in classes, he/she is counted as present in the class.

キャリア支援室 Career Support Office

1. 設立目的

キャリア支援室は、一貫したキャリア教育の推進を図ることを目的に 2011 年 4 月に設置されました。本支援室では、学生の職業観・倫理観育成のための支援や、就職・進学活動、インターンシップ等に関する支援を行っています。

2. 構成メンバー

支援室は、以下のメンバーで構成されています。

- (1) 室長
- (2) 副室長
- (3) キャリア専門員

3. 業務内容

支援室では、次のような業務を行っています。

- (1) キャリア教育の企画及び実施
- (2) 就職、進学ガイダンス等の企画及び実施
- (3) 就職・進学に関する情報等の収集、管理及び提供
- (4) インターンシップに関すること
- (5) 進路相談及び進路支援に関すること

1. The Purpose of This Office

This Office was established in April 2011 in order to promote a consistent education in various professional careers. We teach students about job conscientiousness and professional ethics. We also help students find internships.

2. Constituent Members

- (1) Director of the Career Support Office
- (2) Vice-Director of the Career Support Office
- (3) Career Advisors

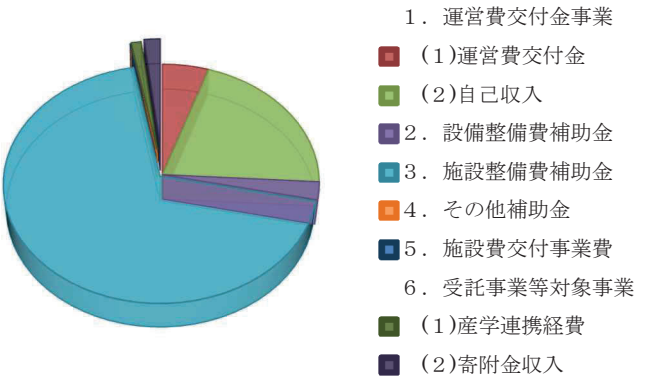
3. Duties of Career Advisors

- (1) Planning and carrying out career education
- (2) Planning and carrying out guidance on job hunting and applying for entrance into universities
- (3) Collecting, managing, and offering information on employment and universities
- (4) Helping students with internships
- (5) Advising and supporting a student’s future educational and professional course

収入・支出決算 (令和 6 年度) Finance (2024)

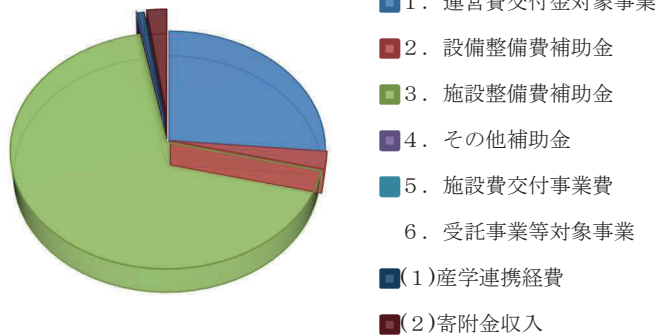
収入 Income (単位：千円) (千円未満四捨五入)

事 項	決 算 額
1. 運営費交付金対象事業	270,895
(1)運営費交付金	53,214
(2)自己収入	217,681
2. 設備整備費補助金	25,331
3. 施設整備費補助金	717,058
4. その他補助金	0
5. 施設費交付事業費	0
6. 受託事業等対象事業	30,535
(1)産学連携経費	11,701
(2)寄附金収入	18,833
合 計	1,043,819



支出 Expense (単位：千円) (千円未満四捨五入)

事 項	決 算 額
1. 運営費交付金対象事業	277,819
2. 設備整備費補助金	25,331
3. 施設整備費補助金	717,058
4. その他補助金	0
5. 施設費交付事業費	0
6. 受託事業等対象事業	31,556
(1)産学連携経費	7,887
(2)寄附金収入	23,669
合 計	1,051,764



外部資金受入状況 Acceptance of Grants-in-Aid for Scientific Research and External Funds

(単位：千円) (括弧書きは件数) (1:1,000Yen) (Cases)

区分 Classification	年度 Year	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024
科学研究費補助金 Grant-in-Aid for Scientific Research		10,270 (8)	13,845 (12)	11,570 (15)	16,770 (15)	29,120 (18)
共同研究 Joint Research		5,701 (9)	9,190 (10)	6,900 (10)	3,886 (11)	2,340 (12)
受託研究等 Commissioned Research		2,491 (4)	7,959 (7)	7,999 (4)	4,999 (2)	3,078 (3)
受託試験 Trust Examination		123 (7)	92 (3)	15 (1)	92 (3)	29 (2)
寄附金等 Endowment, etc.		32,092 (17)	25,307 (20)	4,924 (12)	9,718 (17)	25,750 (37)
合 計 Total		50,677 (45)	56,393 (52)	31,408 (42)	35,465 (48)	60,317 (72)

科学研究費補助金採択課題 (令和 7 年度) Grant-in-Aid for Scientific Research (2025)

研究種目	研究課題名	研究代表者	研究期間
若手研究	三宅尚斎の思想形成に関する基礎的研究	関 幹雄	2022 年度～2025 年度
若手研究	デジタルツインを用いたバイオハザード対策用安全キャビネットの最適設計	牟田 諒太	2023 年度～2025 年度
若手研究	フェーズドアレイ超音波を用いた板成形モニタリング技術の高精度化と金型損傷予測	瀬川 裕二	2024 年度～2026 年度
若手研究	単離リグニン骨格含有ホスト分子の合成と追熟エチレングラス吸着材への展開	美坂 里紗	2024 年度～2028 年度
若手研究	新しいコロナ加熱機構によるブラックホールの時空構造の解明	野田 宗佑	2024 年度～2027 年度
基盤研究(B)	新規 Ag 系太陽電池の創製に向けた半導体バンド構造の解明とデバイス設計	赤木 洋二	2024 年度～2027 年度
基盤研究(C)	実用化を加速させる基盤技術の創生：植物活性物質による微細藻類の増殖・回収の効率化	高橋 利率	2022 年度～2025 年度
基盤研究(C)	工学系数学のデータ駆動型教育によるディープ・アクティブラーニング型授業設計の開発	友安 一夫	2022 年度～2026 年度
基盤研究(C)	ひび割れセンサ機能を有した FRCC の開発	浅野 浩平	2023 年度～2025 年度
基盤研究(C)	都市部集住における参加と協同・協働による持続可能な生活環境づくりに関する研究	杉本 弘文	2023 年度～2025 年度
基盤研究(C)	ストレスファイバーにおける張力依存的なアクチン分子の構造変化と力学応答の関係解明	野口 太郎	2024 年度～2026 年度
基盤研究(C)	3D モーションキャプチャーによる日本語と日本手話の対訳コーパス作成	丸田 要	2025 年度～2027 年度
基盤研究(C)	火山噴出物シラスをモデルとした相分離スパッタ成膜技術開発と新規防曇材料の実現	野口 大輔	2025 年度～2027 年度

施設概況

Land and Buildings

■建物・工作物 Buildings

(令和 7 年 4 月 1 日現在)
(As of Apr. 1, 2025)

校 舎 及 び 付 属 建 物 School Buildings, etc.						
名 称 Name			構造階数 Structure	延面積 Areas	備 考 Note	
校舎関係 School building	一般教科棟	Dept.of General Education	R 2-3	3,263 m ²	薬品庫含む	Chemical Storehouse
	専攻科学研究棟	Dept.of Advanced Engineering	S 4	1,303		
	機械工学科棟	Dept.of Mechanical Engineering	R 3	1,424		
	実習工場	Training Center	R 1	850		
	材料庫	Mechanical Engineering Storehouse	R 1	56	ボンベ庫含む	Cylinder Storehouse
	自動制御実験棟	Mechanical Dynamics Laboratory	R 1	75		
	電気情報工学科棟	Dept.of Electrical and Computer Engineering	R 3	1,639		
	工作室	Workshop	B 1	14		
	物質工学科棟	Dept.of Chemical Science and Engineering	R 3	1,642	薬品庫含む	Chemical Storehouse
	生物工学科棟	Dept.of Bioengineering	R 3	569		
	プラント実験棟	Chemical Plant Laboratory	R 1	88		
	高圧ガス庫	High-Pressure Gas Storehouse	R 1	19		
	建築学科棟	Dept.of Architecture	R 3	1,492	集塵庫含む	Cleaner Storehouse
	建築演習棟	Structural Calculating Room	B 1	132		
	情報教育センター棟1	Computer Center 1	R 1	306		
	情報教育センター棟2	Computer Center 2	R 1	305		
	応用物理実験棟	Applied Physics Laboratory	R 1	282		
	図書館	Library	R 2	1,642		
	選択教室棟	Classrooms for Elective Courses	R 3	664		
	第二材料実験棟	Architecture Laboratory	R 1	173		
	高電圧実験棟	High-Voltage Laboratory	R 1	132		
	地域連携テクノセンター	Techno Center for Collaborative Research and Education	R 2	410		
文化系 Extra-Curricular Activities Facility	文化系課外活動室 Club Houses		S 1	168		
福利関係 Welfare Facilities	福利施設（楽信館）	Infirmery and Cafeteria	R 2	816		
	学生会棟	Student Union Room	B 1	31		
	合宿施設棟	Lodging House for Club Members	R 1	200		
	器楽練習室（暁雲館）	Music Room	W 1	126		
管理関係 Administration Offices	管理棟	Administrative Offices	R 3	1,056		
	事務用倉庫	Office Warehouse	R 1	51		
	守衛室・その他	Gatekeeper House, etc.	R 1	641	車庫・倉庫・受電棟・物品庫	Garage Storehouse Substation Room
	自転車置き場	Bicycle Parking Lot	S 1	一式 (1set)	3ヶ所	3 areas
体育関係 Physical Education Facilities	第一体育館	Gymnasium No.1	S 1-2	1,023		
	第二体育館	Gymnasium No.2	S 1-2	880		
	武道館	Martial Arts Gymnasium	S 1-2	576		
	弓道場	Archery Ground	S 1	91		
	プール（部室）	Swimming Pool (Club Houses)	R 1	507	25m・7コース	25m. 7 lanes
	体育器具庫	Physical Edu. Implement Storehouse	R 1	74		
設備関係 Equipment	給水施設 Water Supply Facilities		R 1	28		
計 Total				22,748		

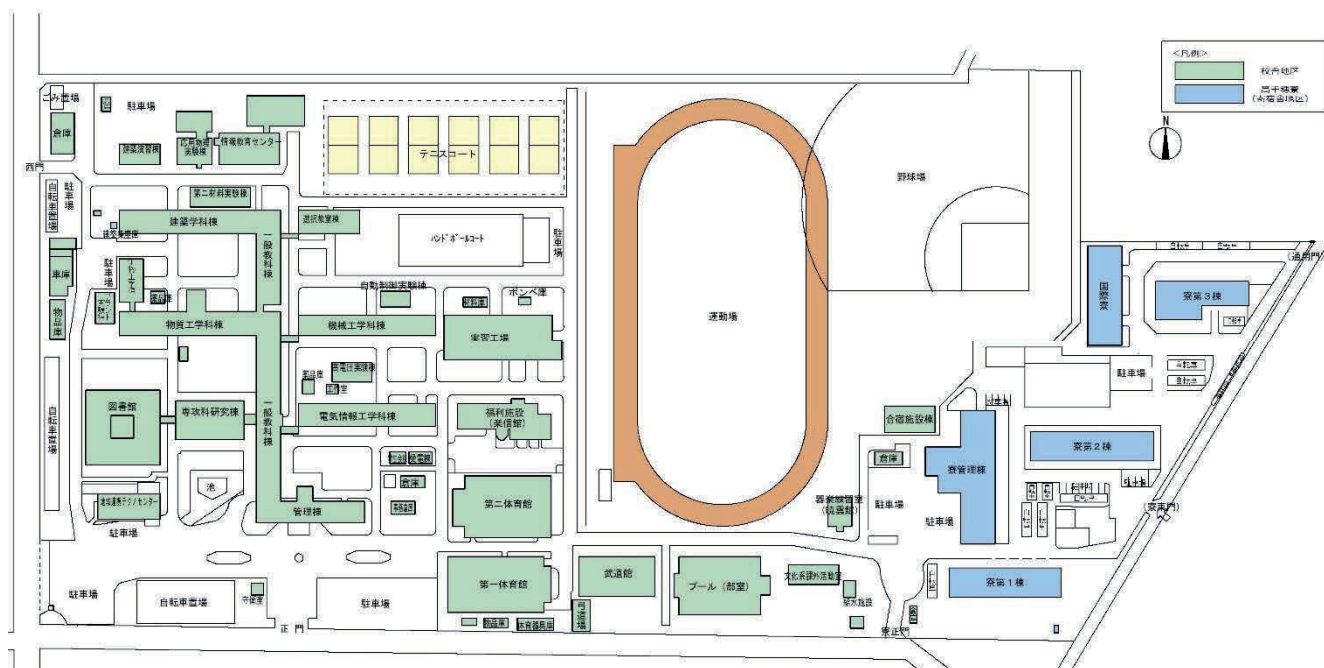
寄宿舎及び職員宿舎 Dormitory and Personnel Housing						
名 称 Name		構造階数 Structure	延面積 Areas	備考 Note		
寄宿舎関係 Dormitory	国際寮	International Dormitory	R 3	1,502		
	寮第1棟	Dormitory No.1	R 3	1,907		
	寮第2棟	Dormitory No.2	R 3	1,800		
	寮第3棟	Dormitory No.3	R 3	1,760		
	寮管理棟	Dormitory Administration Building	R 2	1,789		
	自転車置き場	Bicycle Parking Lot	S 1	一式 (1set)	6ヶ所	6 areas
	倉庫	Storehouse	B 1	53		
	ポンプ室	Pump House	B 1	5		
	倉庫	Storehouse	R 1	22		
	計 Total			8,838		
職員宿舎関係 Personnel	花繰宿舎	Hanaguri Personnel Housing	W 1	103	1戸	1 house
	吉尾住宅	Yoshio Personnel Housing	R 5	1,434	1棟20戸	1 area 20 houses
	計 Total			1,537		

■土地 Land

(令和 7 年 4 月 1 日現在)
(As of Apr. 1, 2025)

区分 Classification	校舎敷地 College Buildings	屋外運動場 Schoolyard	寄宿舎敷地 Dormitory	小計 Sub-Total	職員宿舎敷地 Staff Housing	合計 Total
面積 Area	51,978 m ²	36,431 m ²	17,330 m ²	105,739 m ²	2,643 m ²	108,382 m ²

建物等配置図 Campus Map



福利厚生施設 Welfare Facilities

■ 楽信館 Rakushin-Kan

- 延べ面積 816 m² 鉄筋コンクリート2階建
- 1階……保健室・学生相談支援室・食堂・ラウンジホール
- 2階……ミーティングルーム2室・70人収容のじゅうたん敷き研修室・20畳の和室・学生相談支援室2室

昭和60年4月に開館し、学生・教職員の研修、保健管理・カウンセリング及び文化・体育系学生のミーティング等課外活動の場として提供され、学生・教職員のだんらんとコミュニケーションの中心として学園生活に潤いを持たせ、活気あふれる福利厚生施設として利用されています。

名称の「楽信館」は、郷土の大儒者安井息軒先生ゆかりの「道を楽しみ友を信ずる」の一節を採って命名したものです。



楽信館
Rakushin-Kan

■ 暁雲館 Gyouun-Kan

- 延べ面積 126 m² 木造平屋建

昭和63年1月に開館したロジ風（ログ風）の建物で、本校では唯一の木造建築です。内部は木目を生かした温かみあふれるホールで、床及び天井に高低差を設け、音響効果に工夫がしてあり、吹奏楽部等の音楽関係クラブの練習場として活用されています。

名称の「暁雲館」は、校内募集したもので、校歌の一小節から採っています。



暁雲館
Gyouun-Kan

Access



周辺地図



公共交通機関利用 Take a Public Transportation

JR都城駅から From JR Miyakonojo Station

《宮崎交通バス》51・52番線 小林バスセンター行き 高専前下車
 特急バス 宮崎空港・宮崎行き 高専前下車
 (いずれも所要時間約10分)

JR宮崎駅から From JR Miyazaki Station

《宮崎交通バス》特急バス 西都城駅行き(高速道路経由) 高専前下車
 (所要時間1時間15分)

宮崎空港から From Miyazaki Airport

《宮崎交通バス》特急バス 西都城駅行き(高速道路経由) 高専前下車
 (所要時間45分)

自動車利用 Take a Car

都城ICから国道10号線を市街地方面へ約4km(所要時間約7分)



独立行政法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College

〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1

473-1 Yoshio-cho, Miyakonojo City, Miyazaki Prefecture, Japan 885-8567

TEL

代表(総務課) 0986(47)1107

General Affairs Division

学 生 課 0986(47)1135

Student Affairs Division

機 械 工 学 科 0986(47)1183

Mechanical Engineering Department

電 気 情 報 工 学 科 0986(47)1207

Electrical and Computer Engineering Department

物 質 工 学 科 0986(47)1230

Chemical Science and Engineering Department

建 築 学 科 0986(47)1247

Architecture Department

一 般 科 目 0986(47)1283

General Education Division

FAX

総 務 課 0986(38)1508

General Affairs Division

学 生 課 0986(47)1143

Student Affairs Division

ホームページはこちら

<https://www.miyakonojo-nct.ac.jp/>

